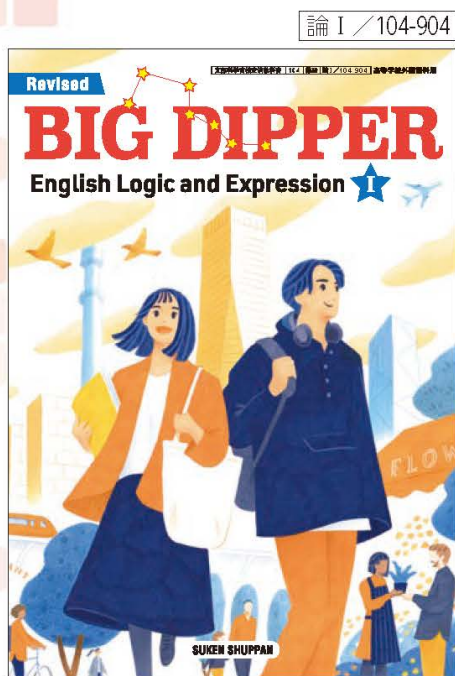


ダイジェスト版



論 I / 104-904

教科書

- 1 教科書の特徴
- 2 目次
- 6 Q R コンテンツの紹介
- 8 PART 1 Lesson 1 はじめに①
- 10 Lesson 9
- 12 Let's Use It! 4
- 14 Express It Logically 2
- 16 Further Activities 2
- 18 Words & Phrases
- 20 PART 2 Lesson 9
- 22 Consolidation 5
- 24 Express It Logically 7
- 26 巻末 Useful Expressions
- 27 教材配当表
- 28 参考書との連携

教授資料・準拠周辺教材

- 30 TEACHER'S MANUAL 指導手順案
- 32 PART 1 Lesson 9
- 36 Express It Logically 2
- 40 PART 2 Lesson 9
- 44 Teacher's Book PART 1 Lesson 14
- 46 PART 2 Lesson 5
- 48 付属 DVD-ROM データ
- 54 参考書 改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語
- 60 ワークブック・レスンブック

デジタル教科書

- 62 デジタル教科書・教材 / 副教材

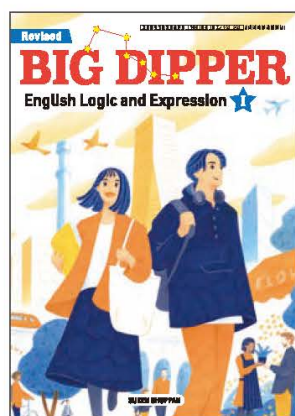


教科書のご案内
サイトはこちら！



教科書の紹介動画
はこちら！

「論理・表現」の基礎〔文法・言語の働き〕を育成する、運用しやすい教科書！



Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I

論 I / 104-904 (B5判・152頁)

詳細はこちら！



教科書の特色

POINT

1

学習しやすい 2パート / 見開き2ページ 構成

A. 2パート構成

PART 1: 論理的な英語表現の基礎〔文法〕/ PART 2: 場面別・機能別表現を習得する 2パート構成となっています。PART 1はライティングに、PART 2はオーラル活動に重点を置いて運用することも可能です。

B. 見開き 2 ページ構成

見開き 2 ページの小ユニットで 1 レッスンが完結するので、テンポよく学習を進めることができます。各レッスン内で、INPUT (簡明な解説・用例) → INTAKE (練習問題) → OUTPUT (自己表現活動) の流れをもった、豊富な演習を設けています。

POINT

2

「論理・表現」の基礎から発展まで、無理のない学習が可能

表現活動に必要な文法の基本から、構文・イディオムを用いた機能表現まで、ムダなくムリなく、大学入学共通テストに対応するための基礎力を養うことができます。また、パラグラフ・ライティング、プレゼンテーションといった比較的高度な言語活動も、発展的レッスン Express It Logically において、ムリなく学習することができます。

POINT

3

さまざまな授業スタイルに配慮した教材ラインアップ

『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』との連携で、文法もしっかり定着。

・表現活動重視、文法学習重視のいずれのスタイルにも対応できるように、準拠教材等を取り揃えました。主要例文は参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』とも連携するようになっています。

編集委員紹介 ①現職名 ②専門

南出 康世

- ①大阪女子大学名誉教授
- ②英語学 (語彙意味論, 辞書学)

Lawrence Schourup

- ①大阪府立大学名誉教授
- ②言語学 (談話標識, 文体論)

David Lehner

- ①武庫川女子大学非常勤講師
- ②言語学 (バイリンガリズム)

Dean Poland

- ①早稲田大学非常勤講師
- ②英語学 (談話分析)

小栗 裕子

- ①元 関西外国語大学教授
- ②英語教育学, 第二言語習得論

西川 真由美

- ①摂南大学特任教授
- ②英語学 (語用論, 辞書学)

三村 浩一

- ①元 帝塚山学院大学教授
- ②英語学 (文法論), 英語教育学

高田 哲朗

- ①京都外国語大学非常勤講師
- ②英語授業学

杉本 喜孝

- ①帝塚山学院大学准教授
- ②CALL 教材の開発および指導方法と評価方法の研究

道中 博司

- ①帝塚山学院中学校高等学校教諭
- ②ライティングの効果的な指導方法と評価方法の研究

◆編集協力

鈴木 健之

(静岡県立科学技術高等学校教諭)

教材ラインアップ



CONTENTS

PART 1 はライティングに、PART 2 はオーラル活動に前半のレッスンは、語彙などの負担も比較的軽いので、時間を ALT との Team Teaching に充当するなどの運用

重点を置いて運用することが可能です。また、PART 2 週 2 単位で PART 1,2 を並行して進めていき、うち 1 用も考えられます。(スムーズな授業展開)

【趣味 / 動名詞】 52

Part 1 Building a Basis for Logical

PART 1 で論理的な英語表現の基礎 [文法] を習得 <Grammatical Syllabus>

Lesson 1	はじめに① — 「だれが」「～する」をはっきりと	【文の主語】	6
	◎ 日本語で省略される主語などに注意して	L.1 ～ 3 (はじめに) では、日英表現の基本的な差異を学びます	
Lesson 2	はじめに② — 動詞をうまく使おう	【動詞】	8
	◎ 伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて英語で表現できる。		
Lesson 3	はじめに③ — 名詞の数などに気をつけよう	【名詞・冠詞】	10
	◎ 名詞が、数えられるか、特定のものであるかなどを意識して英語で表現できる。		
	Let's Use It / 1 Lessons 1-3		
	不規則に変化する動詞の活用表	ループリック (評価基準表)	
	PART 1 の配列は、小社文法テキスト『21 ディッパー英文法』とほぼ同じです		
Lesson 4	My Friends	【友だち / 否定文・疑問文】	16
	◎ 「～である[ない]」「～ですか[しますか]」などを英語で表現できる。		
Lesson 5	My Family	【家族 / 現在・過去・進行形】	18
	◎ 「～する[している]」「～した[していた]」などを英語で表現できる。		
	Let's Use It / 2 Lessons 4-5		20
	各課で学んだ文法事項を応用するコミュニケーション活動		
Lesson 6	Pastime	【休日の予定 / 未来表現】	22
	◎ 未来に行うことについて、英語で表現できる。		
Lesson 7	My Town	【町 / 現在完了】	24
	◎ 現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現できる。		
	Let's Use It / 3 Lessons 6-7		26
	Column 辞書を活用しよう!		28
Lesson 8	Our Teachers	【先生 / 助動詞①】	30
	◎ 能力・許可・推量などの意味を英語で表現できる。		
Lesson 9	Visiting a Museum	【芸術 / 助動詞②】	32
	◎ 必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。		
	Let's Use It / 4 Lessons 8-9		
Lesson 10	Famous People		
	◎ 「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。		
Lesson 11	Reading	【読書 / 受け身】	38
	◎ 「～される[されない]」「～に満足する[不満]」などを英語で表現できる。		
	Let's Use It / 5 Lessons 10-11		40
	論理的な表現を強化する補充レッスン：文から文章へまとめたパラグラフを書くための段階的な練習		
	Express It Logically 1 短い文章を書いてみよう!		42
Lesson 12	Studying Abroad	【留学 / 不定詞①】	46
	◎ 「～すること」「～する方法」「～するための」などを英語で表現できる。		
Lesson 13	Advice	【相談事 / 不定詞②】	48
	◎ 「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを英語で表現できる。		
	Let's Use It / 6 Lessons 12-13		50

Lesson 15	My Vacation	【休暇 / 分詞】	54
	◎ 「～している[された]」「～しに行く」「…が～しているのを見る」などを英語で表現できる。		
	Let's Use It / 7 Lessons 14-15		56
	Express It Logically 2 文のつながりを示す語句を使おう①		58
Lesson 16	In a Zoo	【動物 / 比較①】	62
	◎ 2つのものを比べて、「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できる。		
Lesson 17	Our Team	【部活動 / 比較②】	64
	◎ 「最も～」「2倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現できる。		
	Let's Use It / 8 Lessons 16-17		66
Lesson 18	Neighbors	【隣人 / 関係詞①】	68
	◎ 「～する人/物」「(…)が～する人/物」などを英語で表現できる。		
Lesson 19	Speeches	【スピーチ / 関係詞②】	70
	◎ 「～すること」「～する場所[時]」などを英語で表現できる。		
	Let's Use It / 9 Lessons 18-19		72
	Express It Logically 3 文のつながりを示す語句を使おう②		74
Lesson 20	My Wish	【願い事 / 仮定法】	78
	◎ 事実と異なる状況[願望など]を英語で表現できる。		
Lesson 21	A Birthday Gift	【贈り物 / 接続詞】	80
	◎ 名詞の働きをする節や、時・理由・条件を表す節を、英語で表現できる。		
	Let's Use It / 10 Lessons 20-21		82
	Express It Logically 4 書いた内容を読み返し、書き直そう		84
	Words & Phrases		87

PART 2 では言語の働き (function) を中心に習得 <Functional Syllabus>

Part 2 Communicative Functions for Logical Expression

Lesson 1	School Life	◎ 英語で勧誘・提案を行うことができる。	
Lesson 2	School Subjects	◎ 英語で依頼する、理由を聞く・述べるができる。	96
	Consolidation 1 Lessons 1-2	機能表現を復習・定着・活用するページ	98
Lesson 3	Free Time	◎ 英語で確認・訂正を行うことができる。	100
Lesson 4	Feeling Well?	◎ 英語で心配を表す、助言を行うことができる。	102
	Consolidation 2 Lessons 3-4	プレゼンテーションに関する留意点をまとめて学習	104
	Express It Logically 5 情報・考えをまとめてみよう!		106

Lesson 5	Housework	【家事】	108
	◎英語で義務・必要を述べることができる。		
Lesson 6	The Internet Is Fun	【インターネット】	110
	◎英語で期待・確信を述べることができる。		
	Consolidation 3 Lessons 5-6		112
Lesson 7	I've Lost Your Book	【謝罪】	114
	◎英語で謝罪する、謝罪に応じることができる。		
Lesson 8	Planning a Trip	【旅行の計画】	116
	◎英語で計画・予定を述べることができる。		
	Consolidation 4 Lessons 7-8		118
	Express It Logically 6 発表の仕方や表現を工夫しよう！		120
Lesson 9	Exchange Students	【留学生】	122
	◎英語で程度・結果を述べることができる。		
Lesson 10	I Want to Be a ...	【将来の夢】	124
	◎英語で願望・目的を述べることができる。		
	Consolidation 5 Lessons 9-10		126
Lesson 11	Cheer Up Your Friend	【励まし】	128
	◎英語で同情・共感する、励ますことができる。		
Lesson 12	Farewell Party	【交際】	130
	◎英語で感謝・喜びの気持ちを述べることができる。		
	Consolidation 6 Lessons 11-12		132
	Express It Logically 7 情報・考えを整理して発表しよう！		134
Lesson 13	Saving Resources	【環境問題】	136
	◎英語で賛成・反対を述べることができる。		
Lesson 14	Social Problems	【社会問題】	138
	◎英語で意見を尋ねる・述べるができる。		
	Consolidation 7 Lessons 13-14	簡単な「競技ディベート」の紹介	140
	Express It Logically 8 発表を聞いて、自分の考えをまとめてみよう！		142
	Express It Logically 9 競技ディベートを行ってみよう！		144
	Useful Expressions	各レッスンの基本例文集	146



教科書の各ページに記載した二次元コードをタブレット PC やスマートフォン等で読みとることで、理解を深めるコンテンツやツール、学習の参考になる情報^{*}にアクセスすることができます。必要に応じて活用してください。なお、インターネット接続に際し発生する通信料は利用者の負担となりますのでご注意ください。

(URL: <https://www.chart.co.jp/qr/26eb1/>)

^{*}主要例文の音声、補充問題・確認用プリント、音読練習ツール【モデル音声と自分の発音の一致度を判定】、学習ポイント解説動画(→p.146)をご用意しています。

本書の構成

学習しやすい2パート構成 / 言語活動も充実

本書は大きく2つのパートによって構成されています。

Part 1：英語で論理的に正しく表現するための基礎を学習するパート

Part 2：言語の働き(機能)を意識してより効果的なコミュニケーションを図る力を育成するパート

Part 1 [本課] の構成

左ページ ▶ **基本例文**・**Notes**：各課で学ぶべきポイントを含んだ基本的な例文と簡単な解説

Let's Check It!：表現のポイントを確認 [**B.E.** = Basic Expression (基礎表現)]

右ページ ▶ **Activity**：学習ポイントの定着を図る表現活動(図絵の内容の描写など)

Express Yourself!：学習ポイントを用いた自己表現活動

● **Let's Use It!** で思考・判断・表現の力を高めよう。

Think and Express!：コミュニケーションの場面・状況を意識して表現する。

Interact and Produce：1 対話文・スピーチなどを聞き取り、2 モデルとなる文を完成させる、3 グループワークやペアワークで、やり取り・発表を行う。

● **Lessons 1-3** 「はじめに」：英語と日本語の表現の違いなど、「基礎の基礎」を学ぶレッスン。例文・解説をよく読んで、**Express Yourself!** で実際の使用場面を意識して表現してみよう。

Part 2 [本課] の構成

左ページ ▶ **Listen and Answer**：対話文などを用いたリスニング問題(聞いた内容を書き取る活動)

Expressions：言語の働き(機能)^{*}を意識した対話練習[*タイトル部分に **F** で表示]。ペアワークでやり取り・発表を行う。

右ページ ▶ **Dialog**：各課で取り上げた話題に関する対話文で、左ページの **Expressions** で学んだ表現のほか、対話において有用な表現がたくさん含まれています。dictation(書き取り)やペアでの会話練習を行うことができます。

Retelling：対話文の内容を要約する活動[第三者に伝えるように工夫してみよう]

Further Activities：各課の話題や言語の働きに関連した発展的な言語活動

① **Discussion** / ② **Debate**：各課の話題に関連した話し合いや討議を行う活動
[身近な話題を用いて、友だちと意見を交換する、自分の主張を述べるなど行ってみよう]

● 2課ごとに **Consolidation** (機能表現の復習ページ) を設けています。左ページは例文・解説、右ページは問題演習・表現活動で、しっかりと定着を図ることができます。

Express It Logically について

本課2-4レッスンごとに論理的に文を組み立てて文章を作る活動を行います。**Part 1** では文章(パラグラフ)の作成について、**Part 2** では発表(プレゼンテーション)について、留意点をまとめています。それぞれ一連の内容をもっていますので、これらをまとめて学習してもよいでしょう。

Words & Phrases について

Part 1 と **Part 2** の間に、英語の身近なことばをジャンルごとにまとめた語句リストを載せています。各課の表現活動で活用してみよう。

学びをもっと! 深める! 広げる! 数研の QR コンテンツ

* コンテンツ数 571 個 (「数研発音マスター」コンテンツは判定対象であるセンテンスごとにカウント)

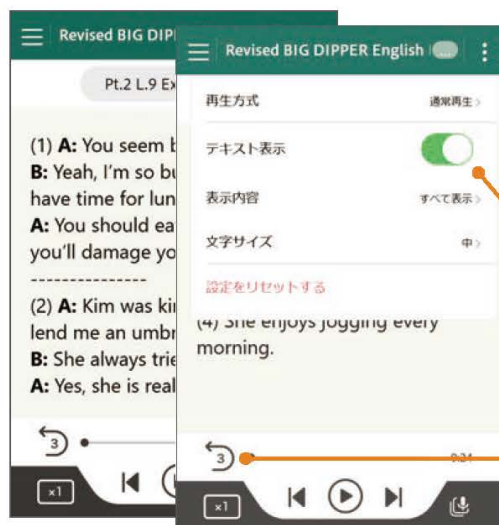
サンプルはこちら!



さらに
充実*

リスニング力をUPする

リスニング (音声再生)



【収録箇所】

Part 1 : 主要例文

Part 2 : Expressions, Dialog

再生方式 : 通常/リピート/シャッフル など

テキスト表示 : 表示/非表示

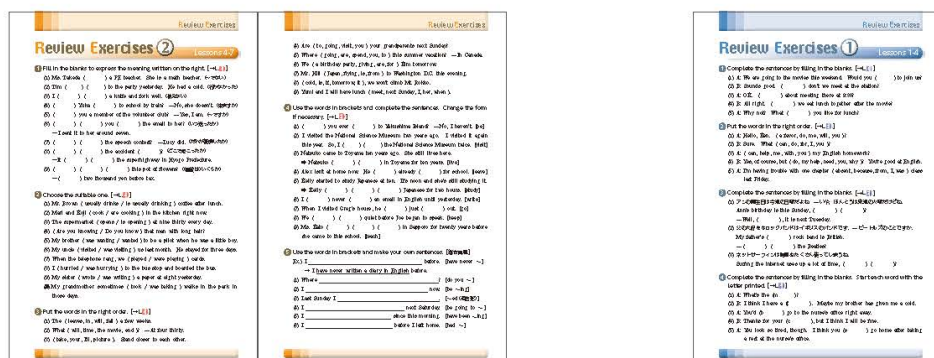
表示内容 : 全文/パラグラフ

文字サイズ : 大/中/小

3秒戻る, 速度調整 (11段階)

各課の学びを深める

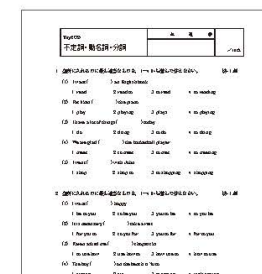
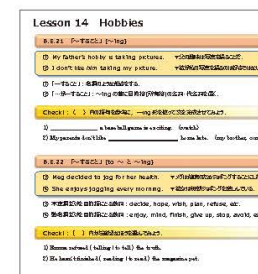
復習問題



Part 1・Part 2の学習ポイントを復習する問題をご用意しています。

文法知識をつける

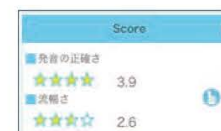
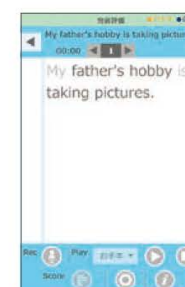
文法解説動画・文法のまとめ・確認テスト



巻末の Useful Expressions の QR コードからは、**文法解説動画**, Part 1の文法事項を振り返る**文法まとめシート**, 中学既習事項を復習できる**文法確認テスト**にアクセスできます。

発音に磨きをかける

数研発音マスター



手本となる音声と、自分の**発音の一致度**を判定できます。

【収録箇所】

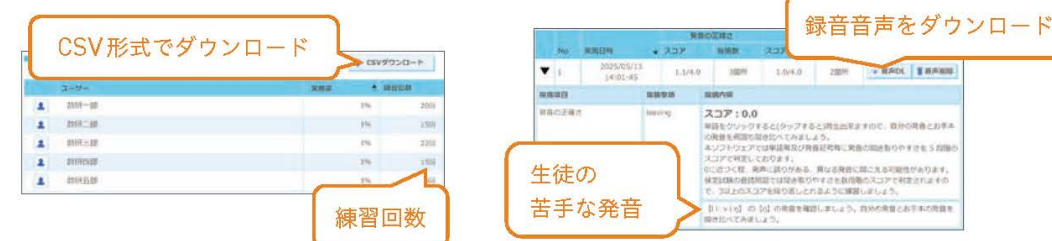
Part 1 : 主要例文

Part 2 : Expressions

数研発音マスタープラス (管理機能付き)

対象教材*をご採用いただくと、追加費用不要で教科書の**数研発音マスタープラス**をご利用いただけます。生徒の**発音練習の回数**, **スコア**, **指摘内容**, **録音音声**を確認可能です。

*対象教材…ワークブック, レッスンブック, 学習者用デジタル教科書・教材



※ご利用にはお申込み, アカウント登録が必要です。詳しくは対象教材同梱の案内をご確認ください。

※画面は開発中のものです。実際の仕様とは異なる場合があります。

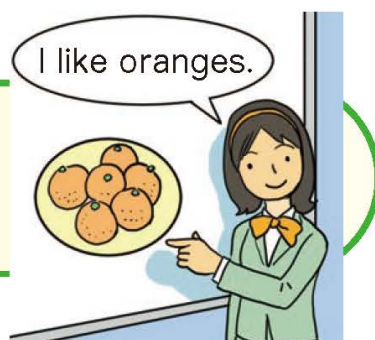
詳細→





PART 1 の L.1～3 は「はじめに」として、英語と日本語の表現の違いなど、「基礎の基礎」を学ぶレッスンになっています

英語で自分の言いたいことを表現するときには、
まず「だれが」「～する」をはっきりと示すことが
大切です。



A 「かぎを落としましたよ」 You dropped your key.

Notes 日本語では、主語（「～は」、「～が」にあたる語）が省略されることがよくあるので、それを補って考えるようにしましょう。

- | | |
|-------------------|---|
| ① 昨日この本を買いました。 | <u>I</u> bought this book yesterday. |
| ② カーター先生に会いましたか。 | Did <u>you</u> meet Ms. Carter? |
| ③ この花を英語で何と言いますか。 | What do <u>you</u> call this flower in English? |
| ④ 当店で時計を売っています。 | <u>We</u> sell clocks and watches here. |

Express Yourself! A *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) 〔駅で〕切符を落とした人に、それを拾って声をかけるとき

Excuse me, () () your ticket. — Oh, thanks!

- (2) 留学生に、日本語がじょうずだね、と伝えるとき

() () good Japanese.

- (3) 新しいかばんを買って、それをとても気に入っているとき

() () a new bag. ()

- (4) 先週サムに会って、元気だったことを友だちに伝えるとき

() () Sam last week. () () fine.

- (5) 昨晚のクイズ番組を見たか、友だちに尋ねるとき

() () () the quiz show last night?

- (6) 目の前にいる鳥について、英語で何と言うか尋ねるとき

What () () () this bird in English?
— A sparrow.

- (7) 日本では車は左側通行であることを伝えるとき

() () on the left in Japan.



日本語で状況を与え、生徒の思考力を活性化させる練習問題。使用する場面や伝えようとする内容と関連づけて、基礎表現〔文法〕を実際に活用させることを重視。図絵を用いた問題も採用
◆ () を与えることで答えやすくなりました！

例文リスニング・発音判定・Pt.1 全主要例文リスニング、
復習問題・解答 pdf
※小社発音判定アプリ「数研発音マスター」で、音読・英語で表現できる。
発話練習もバッチリ！
◆管理機能付き「発音マスタープラス」も利用可能です！
(→ p.7)

して、英語の文を表現できる。
英語で表現できる。

I don't have homework today.

Notes 日本語の「～が」、「～は」がいつも英語の主語になるとはかぎりません。
英語で表現するときには、どの語を主語にするかを考えて英文を作りましょう。

- | | |
|--------------|---|
| ⑤ オレンジが好きです。 | <u>I</u> like oranges. |
| ⑥ 水泳が得意です。 | <u>I'm</u> good at swimming. |
| ⑦ 秋は月が美しい。 | <u>The moon</u> is beautiful in the fall. |
| ⑧ 土曜日は休みです。 | <u>We</u> are off on Saturdays. |

Express Yourself! B *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) スキー (skiing) が得意であることを友だちに伝えるとき

() good at ().

- (2) 冬は温泉 (hot spring) が人気がある、ということを伝えるとき

() () are popular in the ().

- (3) 昨日は熱があつて学校を欠席したことを伝えるとき

() () a fever (), so () was absent from ().

C 「今日はとても暑い」 It's very hot today.

Notes 天候・時間・距離・明暗などを表す場合、it を主語にします。

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ⑨ 昨日は雪がひどかった。 | <u>It</u> snowed hard yesterday. |
| ⑩ 何時ですか。— 4時です。 | What time is <u>it</u> ? — <u>It's</u> four. |
| ⑪ 京都から東京までどれくらいですか。— 500キロくらいですね。 | How far is <u>it</u> from Kyoto to Tokyo? — <u>It's</u> about 500 km. |
| ⑫ 部屋の中は暗かった。 | <u>It</u> was dark in the room. |

Express Yourself! C *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) 右の絵の状況を伝えるとき

() () o'clock now.
() () but () today.

- (2) 今いる場所から駅までどのくらい距離があるかを尋ねるとき

() () () ()
from here to the station?



9 Visiting a Museum

L.4～21で、表現活動と関連付けて、文法を体系的に学習します

例文リスニング・発音判定・Pt.1 全主要例文リスニング、復習問題・解答 pdf



■ 本文を聞く / 音読練習 / 補充問題

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならない」

INPUT: 基本例文と解説

学習すべき文法事項を含んだ基本的な例文と簡単な解説 [B.E. = Basic Expression]

- 1 You **should** go to this exhibition. ▶ この展覧会に行くといいよ。
- 2 You **must** see these pictures. ▶ これらの絵は見ておかないといけないよ。

Notes

「～するとよい、～すべきである」は **should** を、「～しなければならない」は **must** を用いて表します。 **must** のほうが、**should** よりも意味が強くなります。

▶ 「～しなければならない」は **(have to)** を用いて表すこともできます。

I **had to** wake up early *yesterday*. [過去]

▶ **must not [mustn't]** は「～してはいけない」は「～しなくてもよい」[不必要]の意味になります。

INTAKE: Let's Check It!

ポイントとなる文法事項に対しての基本問題 (3 問程度) ◆主に空所補充問題として、より解答しやすくなりました。

Let's Check It! 11 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) The movie is good. You () () it. [見たほうがいいよ]
- (2) The movie is great. You () () it. [見ないといけないよ]
- (3) You () () () the staff room today. [入ってはいけない]

B.E. 12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など

- 3 Tom **may have arrived** there early. ▶ トムはそこに早く着いたのかもしれない。
- 4 He **must have enjoyed** the exhibition. ▶ 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
- 5 We **should have visited** it last week. ▶ 私たちは先週そこを訪れるべきだった。

Notes

過去のことにについて、「～だった[した]にちがいない／かもしれない」と推量する場合は **〈must[may]+have+過去分詞〉** で表します。 また、**〈should+have+過去分詞〉** は、「～すべきだったのに」と過去のことにについての後悔などを表します。

▶ Sam was with us last night, so you **can't have seen** him at the station. [～したはずがない]

Let's Check It! 12 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) Saya () () () a cold. [かぜをひいていたのかもしれない]
- (2) Eri didn't answer the phone. She () () () sleeping. [眠っていたにちがいない]
- (3) I () () () more

PART 1 — 英語で論理的に正しく表現するための基礎力を養成する 21 レッスン

各課の到達目標を Can-do statement (能力記述文) の形で示しています

Can-do!

- ☐ 表現 必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。
- ☐ 話題 催し物や行動・活動などについて、英語で表現できる。

Activity

A () 内の語のうちより適切なほうを選んで、完成した文を言ってみよう。

[(1) (2) (3) (4) → B.E. 11, (5) (6) (7) → B.E. 12]

- (1) We (should / shouldn't) read that book
- (2) When you play sports, you (must / mustn't) wear a helmet.
- (3) You (mustn't / don't have to) tell him everything. It's your choice.
- (4) I (must / had to) go to the dentist after school yesterday.
- (5) I can't find my pencil case. I (must / should) have left it at home.
- (6) Kana (may / can't) have said such a thing.
- (7) I overslept. I (can't / should) have gone to school.

INTAKE: Activity [A]

文法事項を定着させる問題 (適語選択、語形変化、整序など)





◆ intake (定着) の部分をより充実させました。

OUTPUT: Activity [B]

絵や写真 (状況) を見て適切な表現を考えさせる問題 (文字情報を介さず「思考して表現する」演習) ◆「英語表現」時代から好評の演習です。

B 写真・イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。

[(1) (2) → B.E. 11, (3) (4) → B.E. 12]

- (1)  [hurry]
- (2)  [touch]
- (3)  [miss]
- (4)  [practice]

- (1) We _____. The meeting will begin soon.
- (2) You _____ the museum exhibits.
- (3) Bob hasn't arrived yet. He _____ the bus.
- (4) I _____

OUTPUT: Express Yourself!

簡単な自己表現活動 (各課のポイントを用いて、学習者が自分のことを表現する活動)

Express Yourself! *①次の話題について表現し、②対話してみよう。

▶ Tell what happened and give your conclusion.

- ① Ex. John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy. I had a very bad score on the exam. I *should have studied* harder.

- ② Ex. A: John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy. B: I think so, too. He is very interested in Japanese pop.

⇒ Let's Use It! 4 (p.35)

◆ →より発展的な言語活動へ展開!

* 対話を続け、発表してみよう。



Lesson 8 Our Teachers

Tips for Expression

文法事項の簡単な復習・補足説明

- 1 Mr. White can speak five languages. (ホワイト先生は5か国語を話せる。)
- 2 We can use his dictionaries. (私たちは彼の辞書を使ってもよい。)
- 3 May I study here? (ここで勉強してもよろしいですか。)
▶ 「～してもよい」の意味では、**can** はくだけた表現、**may** はかしこまった表現です。
- 4 Ms. Lee may be tired after the race. (リー先生は競走の後で疲れているかもしれない。)
- 5 She must be happy with her record. (彼女は自分の記録に満足しているにちがいない。)
- 6 She can't be in the staff room. (彼女が職員室にいるはずがない。)
▶ 確信[推量]の度合いの強さは、**must** (～にちがいない) > **may** (～かもしれない)。

Think and Express! *理由・説明などを添えて、2文以上で表現してみよう。

- (1) 「自分はこんなことができる」という特技などがありますか。

I can _____
使用する場面や伝えようとする内容と関連付けて、
文法を実際に活用する練習

- (2) 何かしたい場合に、先生に許可を得るときにはどう言いますか。

May _____

- (3) ある店や施設、建物などについて、自分の推測を述べてみよう。

The shop[restaurant, building, etc.] _____

Interact and Produce ▶ 「やり取り・発表」を行ってみよう。

- 🔊 1 Listen to the dialog between Nanami and Andy. Write down some key words.

- 2 Work in pairs. Refer to 1 and reproduce the dialog.

Nanami: Have you seen Ms. Okada? I want to _____.

Andy: She _____.

N: I looked. She _____.

A: She _____ then _____.

N: Thanks, Andy!

- 3 Work in groups.

a Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in 2 and present it to students C and D.

b C and D will ask questions or make comments about the dialog. (Then switch roles.)

→ Words & Phrases p.87 [校内の場所]

Spoken Interaction (話す[やりとり]) と
Spoken Production (話す[発表]) を組み合わせた活動
[1] リスニング活動 (文法ポイント含む)
→ [2] 対話文等の完成
→ [3] [2] を参考にした発表、意見交換

Lesson 9 Visiting a Museum

Tips for Expression

- 1 You should go to this exhibition. (この展覧会に行くといいよ。)
- 2 You must see these pictures. (これらの絵は見ておかないといけないよ。)
▶ 推奨[義務]の度合いの強さは、**must** (～しなければならない) > **should** (～するとよい)。
- 3 Tom may have arrived there early. (トムはそこに早く着いたのかもしれない。)
- 4 He must have enjoyed the exhibition. (彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。)
- 5 We should have visited it last week. (私たちは先週そこを訪れるべきだった。)
▶ 過去についての推量は <**must**[**may** など] + **have** + 過去分詞> で、後悔などの気持ちは <**should** + **have** + 過去分詞> で表します。

Think and Express! *理由・説明などを添えて、2文以上で表現してみよう。

- (1) 友だちに「～するといいよ」と勧めたいことを述べてみよう。

You should _____

- (2) 友だちがうれしそうでした。何があったのか推測してみよう。

Gen looked happy. _____

- (3) あなたが後悔したことについて述べてみよう。

I should _____

Interact and Produce ▶ 「やり取り・発表」を行ってみよう。

- 🔊 1 Listen to the dialog between Lily and Takumi. Write down some key words.

- 2 Work in pairs. Refer to 1 and reproduce the dialog.

Lily: _____ to Ueno Zoo?

Takumi: No, _____ there.

L: It's great. You _____.

T: _____ in the zoo do you like best?

L: I love the pandas. You _____. They are so cute.

T: Pandas? I've always _____!

- 3 Work in groups.

a Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in 2 and present it to students C and D.

b C and D will ask questions or make comments about the dialog. (Then switch roles.)

→ Words & Phrases p.89 [場所・施設]



論理的な文章構成（パラグラフ・ライティング）の要点をまとめました。文から文章へと、段階的に「書く」活動の内容を充実させていきます

文のつながりを示す語句を使おう①

1 時間の順序に従って書いてみよう

代表的なパラグラフの展開パターンを紹介

ある一日の出来事を、時間の経過に従って書いてみましょう。「午前中」「午後」など時間そのものを表す表現だけでなく、次のような文のつながりを示す語句（つなぎ表現）を使って、順序よく伝えましょう。

next (次に), then (それから), after that (その後), later (後で)

Ex.) I had a good day **last Sunday**. I got up **at eight** and had breakfast. **Then** I studied English and math **all morning**. I ate lunch **at twelve**. **In the afternoon** my friend Hiroko came over. We talked a lot about school and our club activities. **After that**, we went to the park near my house and played badminton. We got home **at five**.

◀ 例をヒントにして、この前の日曜日にしたことを書いてみよう。▶

用例にならい、つなぎことばなどを効果的に使って、文章を論理的に構成する練習。書いた内容を読み直す習慣をつけるチェック欄付き

→ 読み直し ☐

2 理由をいくつか挙げながら書いてみよう

相手に自分の意見を述べるときは、なぜそう思うのかという理由を示すと説得力があります。いくつかの理由を、順番に示しながら書いてみましょう。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 「私は、～だと思います。」 | ← 最初に自分の意見を書く。 |
| 「それには、三つ理由があります。」 | ← 理由がいくつあるか示す。 |
| ● 第一に(まず)、～だから。 | ← 以下、順番に理由を書く。 |
| ● 第二に、～だから。 | |
| ● 第三に(最後に)、～だから。 | |

Ex.) **Having friends is important to us. There are three reasons for this.** **First**, friends share their knowledge with us. This broadens our point of view. **Second**, we can enjoy our free time with our friends. **Third**, our friends help us when we are in trouble. Of course we can live without friends, but if we have friends, our lives will be more pleasant.

注 share 分かち合う broaden 広げる a point of view ものの見方 in trouble 困った

◀ 次の文に続けて、いくつか理由を挙げて文章を書いてみよう。▶

I think that English is important in our lives. There are reasons for this. First, Second, Third, ...

→ 読み直し ☐

3 例を挙げながら書いてみよう

相手に何かを説明する場合には、具体的な例を挙げながら説明するほうがずっとわかりやすくなります。そういうときには、次のようなつなぎ表現が便利です。

for example (例えば), for instance (例えば), such as (～のような), like (～のような)

Ex.) Different people like different foods. **For example**, my father likes Chinese food, **such as** ramen and gyoza. My mother likes Japanese food. She is a good cook and has a lot of recipes. My sister likes Italian food, **like** pasta and pizza. I like hamburgers and sandwiches because they are delicious and we can eat them very quickly.

注 a recipe レシピ, 調理法 delicious とてもおいしい quickly すばやく

◀ 例をヒントにして、家族の好きな食べ物について書いてみよう。▶

→ 読み直し ☐

Let's write more!

学習事項の定着を図る補充練習

1. 自分のこれまでの経歴について、簡単にまとめてみよう。[→ ①]

Hint 生まれた年、学校に入学した年などを時間順にまとめ、それに沿って、所々に簡単なエピソード(好きだったことやクラブ活動など)を交えて書いてみよう。

2. ある人が自分たちのリーダー(キャプテン・部長・委員長など)として適任であることを表す文章を、理由をいくつか挙げながら書いてみよう。[→ ②]

3. 自分の周りの人たちの趣味や好みに関して、例を挙げながら説明する文章を書いてみよう。[→ ③]

- 1 Write a short passage of 40 words or more about your experience of a trip or an excursion. Use words showing time order (next, then, after that, later, etc.). [→ 1]

.....

.....

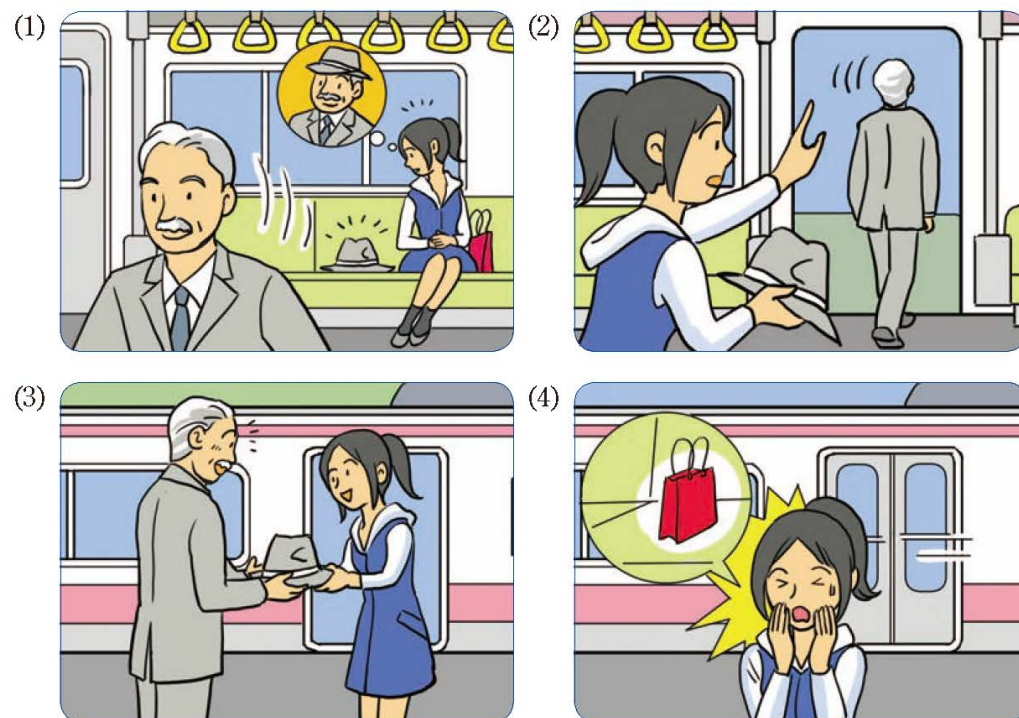
.....

.....

.....

→ 読み直し ☐

- 2 Tell your partner the story shown in the following pictures. Use words showing time order. [→ 1]



Yesterday afternoon, I was on a train.

.....

.....

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し ☐

- 3 Answer the questions. Give two or three reasons, using words like "first," "second," "third," or "also." Your answer should be 40 or more words in length. [→ 2]

Question (a): Do you think learning foreign languages is important?

.....

.....

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し ☐

Question (b): Do you think social media is a good way to get news?

.....

.....

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し ☐

- 4 Using the following structure, explain a saying you know. [→ 3]

*saying 「ことわざ」

There is a saying, ".....". This means
For instance,

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し ☐

Hint For instance, の後に, As another example, として, 異なる例を補足してもよい。最後の部分は, 自分の意見などを結論として述べてみよう。

Words & Phrases

*英語の身近なことを集めました。さまざまな話題について英語で表現できるように活用しよう。
(各レッスンの関連ページを▶で示しています。)

学校に関することば

教科・科目

- | | | |
|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> 国語 Japanese language | <input type="checkbox"/> 社会 social studies | <input type="checkbox"/> 体育 physical education[PE] |
| <input type="checkbox"/> 古典 Japanese classics | <input type="checkbox"/> 日本史 Japanese history | <input type="checkbox"/> 美術 art and design |
| <input type="checkbox"/> 漢文 Chinese classics | <input type="checkbox"/> 世界史 world history | <input type="checkbox"/> 書道 calligraphy |
| <input type="checkbox"/> 数学 mathematics[math] | <input type="checkbox"/> 地理 geography | <input type="checkbox"/> 音楽 music |
| <input type="checkbox"/> 理科 science | <input type="checkbox"/> 政治経済 politics and economy | <input type="checkbox"/> 選択科目 elective[optional] subject |
| <input type="checkbox"/> 生物 biology | <input type="checkbox"/> 公共 public | <input type="checkbox"/> 必修科目 required [compulsory] subject |
| <input type="checkbox"/> 化学 chemistry | <input type="checkbox"/> 倫理 ethics | <input type="checkbox"/> 理系 science course |
| <input type="checkbox"/> 物理 physics | <input type="checkbox"/> 家庭 home economics | <input type="checkbox"/> 文系 humanities course |
| <input type="checkbox"/> 地学 earth science | <input type="checkbox"/> 情報 information | |
| | <input type="checkbox"/> 保健 health | |
- ▶ pp. 20, 97

クラブ活動

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> クラブ活動 extracurricular[club] activity | <input type="checkbox"/> 放送部 school broadcasting club | <input type="checkbox"/> 野球部 baseball team |
| <input type="checkbox"/> 美術部 art club | <input type="checkbox"/> 新聞部 school newspaper club | <input type="checkbox"/> サッカー部 soccer[football] team |
| <input type="checkbox"/> 華道部 flower arrangement club | <input type="checkbox"/> 陸上部 track and field team | <input type="checkbox"/> コーチ coach |
| <input type="checkbox"/> 茶道部 tea ceremony club | <input type="checkbox"/> 水泳部 swimming team | <input type="checkbox"/> 主将 captain |
| <input type="checkbox"/> 演劇部 drama club | <input type="checkbox"/> 体操部 gymnastics team | <input type="checkbox"/> 部員 member |
| <input type="checkbox"/> 科学部 science club | <input type="checkbox"/> 卓球部 table tennis team | <input type="checkbox"/> マネージャー coach's assistant |
| <input type="checkbox"/> 英会話クラブ ESS [English Speaking Society] | <input type="checkbox"/> バドミントン部 badminton team | <input type="checkbox"/> 部室 club room |
| <input type="checkbox"/> 吹奏楽部 brass band | <input type="checkbox"/> テニス部 tennis team | <input type="checkbox"/> 試合に勝つ[負ける] win[lose] the game |
| <input type="checkbox"/> 合唱部 chorus | <input type="checkbox"/> バスケットボール部 basketball team | <input type="checkbox"/> 合宿する have[hold] a training camp |
| | <input type="checkbox"/> バレーボール部 volleyball team | |
- ▶ p. 20

学校行事

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 中間考査 midterm exam | <input type="checkbox"/> 追試験 makeup exam | <input type="checkbox"/> 体育祭 field day[sports festival] |
| <input type="checkbox"/> 期末考査 term-end[final] exam | <input type="checkbox"/> 通信簿 report card | <input type="checkbox"/> 修学旅行 school trip |
| <input type="checkbox"/> 入学試験 entrance exam | <input type="checkbox"/> 入学式 entrance ceremony | <input type="checkbox"/> 火災避難訓練 fire drill |
| <input type="checkbox"/> 模擬テスト practice exam | <input type="checkbox"/> 卒業式 graduation ceremony | <input type="checkbox"/> 生徒会 student council |
| | <input type="checkbox"/> 始業式 opening ceremony | <input type="checkbox"/> 全校集会 student assembly |
| | <input type="checkbox"/> 終業式 closing ceremony | |
| | <input type="checkbox"/> 文化祭 school festival | |
- ▶ p. 67

校内の場所

- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 職員室 staff[teachers'] room | <input type="checkbox"/> 調理室 cooking room | <input type="checkbox"/> 靴箱 shoe shelf |
| <input type="checkbox"/> 校長室 principal's office | <input type="checkbox"/> 進路指導室 career guidance office | <input type="checkbox"/> 上履きに履き替える change into one's indoor shoes |
| <input type="checkbox"/> LL教室 language laboratory | <input type="checkbox"/> 体育館 gym[gymnasium] | <input type="checkbox"/> 校門 school gate |
| <input type="checkbox"/> 視聴覚室 audio-visual room | <input type="checkbox"/> 食堂 school cafeteria | <input type="checkbox"/> 自転車置き場 bicycle shed |
| | <input type="checkbox"/> 廊下 corridor[hall] | <input type="checkbox"/> 校庭 schoolyard |
- ▶ p. 34

日常生活に関することば

家事

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 日常の買い物をする do daily shopping | <input type="checkbox"/> 食事を作る cook the meal | <input type="checkbox"/> イヌを散歩させる walk the dog |
| <input type="checkbox"/> 洗濯物をたたむ fold the laundry | <input type="checkbox"/> テーブルを片づける clear the table | <input type="checkbox"/> ネコ[イヌ]にえさをやる feed the cat[dog] |
| <input type="checkbox"/> 水やりをする water the plants | <input type="checkbox"/> ゴミを出す take out the garbage | <input type="checkbox"/> ふとんを敷く[たたむ] spread out[fold up] the futon |
| <input type="checkbox"/> 食器をテーブルに並べる lay the dishes on the table | <input type="checkbox"/> 部屋に掃除機をかける vacuum the room | <input type="checkbox"/> 浴槽を掃除する clean the bathtub |
| | <input type="checkbox"/> 窓をふく clean the windows | <input type="checkbox"/> 風呂の用意をする prepare the bath |
| | <input type="checkbox"/> ペットの世話をする take care of the pet | |
- ▶ p. 109

住まい

- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 掛け布団 quilt[comforter] | <input type="checkbox"/> 洋服ダンス wardrobe | <input type="checkbox"/> こんろ stove |
| <input type="checkbox"/> 敷き布団 mattress | <input type="checkbox"/> 本棚 bookcase[bookshelf] | <input type="checkbox"/> 流し sink |
| <input type="checkbox"/> 毛布 blanket | <input type="checkbox"/> じゅうたん carpet | <input type="checkbox"/> 洗濯機 washing machine |
| <input type="checkbox"/> 枕 pillow | <input type="checkbox"/> ラグ[敷き物] rug | <input type="checkbox"/> 乾燥機 dryer |
| <input type="checkbox"/> カーテン curtain | <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 refrigerator[fridge] | <input type="checkbox"/> 掃除機 vacuum cleaner |
| | <input type="checkbox"/> 食器棚 cupboard[sideboard] | <input type="checkbox"/> エアコン air conditioner |
| | <input type="checkbox"/> 電子レンジ microwave oven | |
- ▶ p. 109

病気・けが

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 患者 patient | <input type="checkbox"/> 心臓病 heart disease | <input type="checkbox"/> 食欲がなくなる lose one's appetite |
| <input type="checkbox"/> 医者にかかる see[consult] a doctor | <input type="checkbox"/> 脳梗塞 brain infarction | <input type="checkbox"/> 発疹ができる get[develop] a rash |
| <input type="checkbox"/> 注射 injection | <input type="checkbox"/> がん cancer | <input type="checkbox"/> かゆい itch[be itching] |
| <input type="checkbox"/> 処方箋 prescription | <input type="checkbox"/> 心臓発作 heart attack | <input type="checkbox"/> 切り傷を負う cut oneself |
| <input type="checkbox"/> かげ薬 cold medicine | <input type="checkbox"/> インフルエンザ influenza[flu] | <input type="checkbox"/> ばんそうこう adhesive plaster |
| <input type="checkbox"/> 薬を飲む take medicine | <input type="checkbox"/> 下痢 diarrhea | <input type="checkbox"/> 打撲を負う have a bruise |
| <input type="checkbox"/> 手術を受ける have[undergo] an operation | <input type="checkbox"/> 便秘 constipation | <input type="checkbox"/> 突き指をする sprain a finger |
| <input type="checkbox"/> 入院中である be in (the) hospital | <input type="checkbox"/> 花粉症 hay fever | <input type="checkbox"/> やけどする burn oneself |
| <input type="checkbox"/> 入院する go to[go into, enter] (the) hospital | <input type="checkbox"/> コロナに感染する get COVID [be infected with coronavirus] | <input type="checkbox"/> 肩こりがする have a stiff neck |
| <input type="checkbox"/> 退院する leave (the) hospital | <input type="checkbox"/> せきが出る have a cough | <input type="checkbox"/> 筋肉痛になる have a muscular pain |
| <input type="checkbox"/> 過労 overwork | <input type="checkbox"/> のどが痛い have a sore throat | <input type="checkbox"/> 肉離れ pulled muscle |
| | <input type="checkbox"/> くしゃみをする sneeze | <input type="checkbox"/> 骨折する break a bone |
| | <input type="checkbox"/> 寒気がする have a chill | <input type="checkbox"/> ねんざ sprain |
| | <input type="checkbox"/> 吐き気がする feel sick | |
| | <input type="checkbox"/> めまいがする feel dizzy | |
- ▶ p. 103

通信・コンピュータ

- | | | |
|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> 携帯電話 cell phone | <input type="checkbox"/> デスクトップコンピュータ desktop computer | <input type="checkbox"/> (携帯電話で) テキストメッセージを~に送る text |
| <input type="checkbox"/> スマートフォン smartphone | <input type="checkbox"/> ノートパソコン laptop computer | <input type="checkbox"/> 添付ファイル attached file[attachment] |
| <input type="checkbox"/> 留守電に伝言を入れる leave a message on one's voice mail | <input type="checkbox"/> タブレットPC tablet PC | <input type="checkbox"/> ボタンをクリックする click a button |
| <input type="checkbox"/> 電話をかける make a phone call | <input type="checkbox"/> ソフトウェア software | <input type="checkbox"/> ウェブサイトを訪れる visit a website |
| <input type="checkbox"/> 電話を切る hang up | <input type="checkbox"/> マウス mouse | <input type="checkbox"/> ネットを閲覧する browse the internet |
| | <input type="checkbox"/> 画面 screen | |
| | <input type="checkbox"/> アイコン(小さな図) icon | |
| | <input type="checkbox"/> Eメールを送る send an email | |

9 Exchange Students

英語表現上のコミュニケーション機能(言語の働き)を学習。豊富な対話用例を「支援」として提示しています

Expressions リスニング・発音判定, Dialog リスニング, Pt.2 全主要例文リスニング, 復習問題・解答 pdf など

F 程度・結果を述べる

Listen and Answer

WARM-UP : Listen and Answer

各課で学習する内容の導入となるリスニング問題。共通テストにも通じる, 図表・写真を選択させる問題もあります

Listen to the speech by an exchange student

1-3.

1 What does the speaker's nickname mean?

(1)



(2)



(3)



2 Who is visiting Japan now?

— _____.

3 What did the speaker do at Kinkakuji Temple?

— She _____.

INPUT ~ INTAKE : Expressions
ポイントとなる機能表現をペアワークで習得。それを活用してオリジナルの対話文を作る練習

Expressions

Work in pairs. Practice the following dialogs.

1 A: You seem busy today.

B: Yeah, I'm so busy that I didn't have time for lunch.

A: You should eat something, or you'll damage your health.

2 A: Kim was kind enough to lend me an umbrella.

B: She always tries to be helpful.

A: Yes, she is really a good person.

3 A: This curry is too hot to eat.

B: I thought you liked spicy food.

A: Well, it depends. This is too hot!

実際に使う状況を思い浮かべながら, 「程度・結果を述べる」表現を練習しよう。

- ① とても…なので～
- ② (十分)…なので～する
- ③ …すぎて～できない



⇒ Consolidation 5 (p.126)

Make your own dialogs by changing the underlined parts.

Practice the dialogs you have made and present them to the class.

PART 2 — 多様な機能・場面に応じた表現を習得する 14 レッスン

Can-do!

☐ 機能 英語で程度・結果を述べるができる。 ☐ 話題 人の性格や特徴などについて英語で表現できる。

Dialog Meg, an exchange student from the U.S.A., is talking to Ken.

Listen to the dialog and fill in the blank. Then play the roles of Meg and Ken in pairs.

INTAKE : Dialog

左ページにおいて学習した Expressions や重要表現・語彙を定着させる dictation. role play によって, コミュニケーションを図る場合の発声練習を行います

M: Have you () to the new restaurant?

K: Yes, I had lunch there last week. It was really delicious, but the shop was

() busy () I had trouble getting a seat.

M: Yes, it seems amazingly (). I've wanted to eat

there, but there's usually a long () outside.

I guess I'm just too impatient.

K: Maybe someday you could arrive early ()

to avoid the lunch crowd.

M: That's a good (). I'll try going at around 11:30 next time.



OUTPUT : Retelling

Dialog を自分のことばで要約する活動。自分が聞いた内容を第三者に伝える練習にもなります

Retelling Summarize the dialog.

Ken had lunch ① _____ in Midori-machi. It was ② _____ but the shop ③ _____. Ken suggested to Meg that she should ④ _____.

OUTPUT : Further Activities

実生活につながる応用的な言語活動により OUTPUT を促進します

Further Activities

Introduce one of the following exchange students to your friend.

Student	Nancy	Tuan	Sehi
From	Toronto, Canada	Hanoi, Vietnam	Daegu, Korea
Hobby	swimming, cycling	tennis, cooking	reading
Favorite music	classical	pop	jazz
Japanese foods you like and don't like	😊 <i>sukiyaki</i> 😞 <i>natto</i>	😊 <i>sushi</i> 😞 <i>konnyaku</i>	😊 <i>tempura</i> 😞 <i>umeboshi</i>

Ex. Let me introduce Pedro. He is from Santos, Brazil. His hobby is watching movies. His favorite kind of music is rock'n'roll. He likes natto so much that he eats it every day. He doesn't like takuan.

Discussion Your class will accept Marika, an exchange student from Finland. What will you do for her while she is here?

⇒ Words & Phrases p.91 [就学・留学]

OUTPUT : Discussion/Debate

日常的な, 議論・討論しやすい話題を提示

Consolidation 5



重要ポイントのまとめ

Lesson 9 Exchange Students 〈程度・結果を述べる〉

Input

- I'm so busy that I didn't have time for lunch.
(とても忙しくて、昼食をとる時間がなかったよ。)
- Kim was kind enough to lend me an umbrella. (キムが親切にも傘を貸してくれたよ。)
- This curry is too hot to eat. (このカレーは辛すぎて食べられないな。)

① 〈so ... that ~〉は「とても…なので〜〔結果〕」「〜であるほど…〔程度〕」の意味を表します。

【類例】Ted is such a happy person that everyone around him smiles.

(テッドはとても楽しい人なので、彼の周りにいる人は皆、笑顔になります。)

② 〈... enough to ~〉は「〜するほど十分に…〔程度〕」「十分…なので〜する〔結果〕」の意味を表します。

〈kind enough to ~〉は「親切にも〜してくれる」の意味になります。

③ 〈too ... to ~〉は「…すぎて〜できない〔結果〕」「〜するにはあまりに…〔程度〕」の意味を表します。

too は許容できる程度を超えていることを示し、否定的な意味をもちます。

Lesson 10 I Want to Be a ... 〈願望・目的を述べる〉

Input

- What do you want to be in the future? —I hope to be an actor.
(将来何になりたいの。—俳優になりたいと思ってるんだ。)
- In order to become an actor, you'll have to go to acting school, won't you?
(俳優になるためには、演劇学校に通わなきゃいけないね。)
- I would like to be an engineer. (エンジニアになりたいんです。)
- I'm studying math so that I can learn to think logically.
(論理的思考を身につけるため、数学を勉強しています。)
- I have a dream of playing soccer in Spain.
(ぼくにはスペインでサッカーをするっていう夢があるんだ。)

① 〈want to ~〉「〜したい」、〈hope to ~〉「〜することを望む」 ③ 〈would like to ~〉「〜したい」は願望・希望を表します。〈would like to ~〉は〈want to ~〉よりもていねいな表現になります。

② 〈in order to ~〉は「〜するために」と、目的を述べる表現です。

④ 〈so that ~〉「〜するため[よう]に」は目的を述べる表現です。that-節では can, will などがよく用いられます。上の L.9 ① の〈so ... that ~〉とまちがえないように注意しよう。

⑤ 〈have a dream of ~ing〉「〜するという夢がある」は、願望・希望を述べる表現です。〈of ~ing〉「〜するという」が dream の内容を説明している点に注意しよう。

1 () 内に適切な語を入れて、完成した文を言ってみよう。

Intake



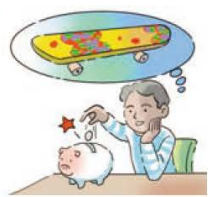

[(1) (2) (3) → L.9, (4) (5) → L.10]

- I was () tired () I fell asleep during class. [とても疲れていたので]
- Sota is diligent () () practice kendo every morning.
[毎朝練習するほど勤勉だ]
- These letters are () () () read. [小さすぎて読めない]
- I () () () be a diplomat. () () () realize this, I study English hard. [外交官になりたい／実現するために]
- I always read a newspaper () () I () learn more about current topics. [詳しくなるために]

2 イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。

Output ①

[(1) → L.9, (2) (3) (4) → L.10]

- 
[so, noisy]
- 
[hope, journalist]
- 
[order, skateboard]
- 
[dream, live]

- My brothers were _____ focus on studying.
- Shinji _____ in the future.
- I'm saving money _____.
- Kaori _____ Denmark someday.

3 次のとき、あなただったらどう伝えますか。学んだ表現を使って言ってみよう。

Output ②

[(1) (2) → L.9, (3) (4) → L.10]

- ムーア先生が親切にも彼女のふるさとを案内してくれた (guide us around) と伝えるとき
Ms. Moore was _____.
- とても難しくて解くことができない数学の問題 (problem) があったとき
The math _____.
- 手伝ってあげたいので、何かできることはないか、と声をかけるとき
_____. What can I do for you?
- 英語が上達する (improve) ように英語のニュース番組を見ている、と述べるとき
I watch _____ my English.

情報・考えを整理して発表しよう！

本文を聞く▶



聞き手が理解しやすいような発表内容にするためには、情報・考えがきちんと整理されていなければなりません。それにはいくつか注意すべき点があります。

1 時間の流れに沿って、内容を整理しよう

人物や出来事の紹介などは、時間の流れに沿ってまとめると理解しやすくなります。例えば、あるスポーツ選手について述べたい場合、次のように年代を追って整理し、スライドで年表などの資料を示すとよいでしょう。

Alex Minton was a great pitcher. He joined the Condors in 1990. He set a record by having 15 or more wins every year for 11 years. In 2002, he underwent an operation on his right elbow and had no chance to play. However, he made a comeback in 2003 and won 14 games. He finally retired after the 2006 season with a record of 5-4 that year.



▼ Professional Career of Alex Minton

Year	Win	Loss	SO	ERA
'90	15	8	232	2.87
'91	18	5	251	3.06
'92	20	7	255	2.64
'93	19	8	270	2.98
'94	16	10	228	3.43
'95	21	6	275	2.57

2 重要な内容から順に述べよう

聞き手に納得してもらうには、自分の主張と、その理由付けや補足事例を明確に述べる必要がありますが、その中でも特に重要だと自分と思うことは、まず最初に伝えるのがよいでしょう。

例えば「sushiの人気の秘密」について発表するとします。その人気の理由としては、

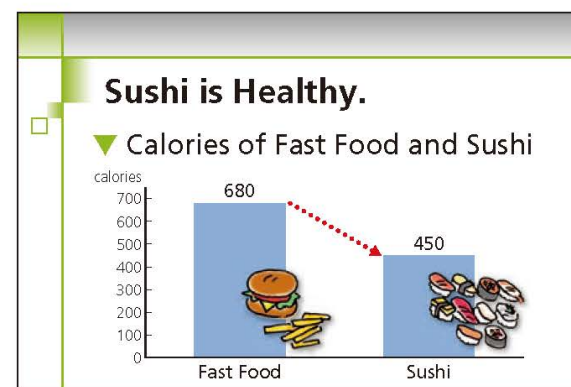
It's tasty. / It's healthy. / It looks good. / There are many different kinds. / The price has become reasonable.

などが挙げられるでしょう。この中で最も重要だと考える理由が **It's healthy.** だとすれば、その点から発表を始めるのが効果的です（→次ページの例を参照）。

3 事例を比較したり、統計資料を活用したりしよう

ある2つの事例を比較したり、客観的な数値を用いて説明したりすると、発表に説得力が増します。その際にグラフや図表を用いると、聞き手の注意を引き、理解を深めて、発表をより印象深いものにすることができるでしょう。先に述べた「sushiの人気の秘密」というテーマでは、次のような発表が考えられます。

Good afternoon, everybody. Today, we'll explain to you why sushi is so popular all over the world. **First of all, sushi is very healthy.** Take a look at this chart **comparing sushi and fast food.** One meal of sushi (10 pieces of different kinds) has about **450 calories**, while one fast food meal, a cheeseburger (300 calories) with medium French fries (380 calories), has about **680**. A California roll made with healthy things like avocado, crab meat, and cucumber has **only 35 to 40 calories** per piece, so six or seven pieces add up to less than 300 calories. These examples show what a low-calorie food sushi is. ...



プレゼンテーションの実践練習

Let's Practice!

日本のアニメやファッション、食べ物、音楽などのうち、国内や国外で人気のあるものをテーマにして、なぜ人気があるのかなどについて発表してみよう。情報や考えをまとめるときに、発表に説得力をもたせることを念頭に、具体例や統計資料などを収集して活用してみよう。



Useful Expressions

*各レッスンの主要例文の一覧です。各文の赤文字部分は表現するうえでポイントとなる箇所を表しています。暗唱できるくらいに何度も英文を繰り返し音読し、英語での表現力を鍛えよう。

Part 1

- L.1** ▶ ☐ かぎを落としましたよ。
(p.6) ☐ 今日は宿題がありません。
☐ 今日はとても暑い。
- L.2** ▶ ☐ 私はコーヒー。
(p.8) ☐ 電話に出てください。
☐ 庭に高い木があります。
- L.3** ▶ ☐ この靴はトムのです。
(p.10) ☐ 昼食を食べましょう。
☐ ドアを開けてください。
- L.4** ▶ ☐ ミクは科学に興味があります。
(p.16) ☐ 彼女は歴史が得意ではありません。
☐ アキラは野球をしますか。
☐ 彼は毎日野球の練習をしますか。
- L.5** ▶ ☐ 母はよくリンゴを食べる。
(p.18) ☐ 彼女は今リンゴを食べている。
☐ 弟は昨日テニスをした。
☐ 彼は正午にテニスをしていた。
- L.6** ▶ ☐ 明日はいい天気でしょう。
(p.22) ☐ 私は庭仕事をします。
☐ 私はお寺巡りをするつもりです。
☐ 明日は奈良に滞在します。
- L.7** ▶ ☐ アヤは北海道へ引っ越してしまいました。
(p.24) ☐ 私は北海道へは一度も行ったことがありません。
☐ 彼女とは10年来の知り合いです。
☐ 富山に引っ越す前は長野に住んでいた。
- ☐ それまで海を見たことがなかった。
- L.8** ▶ ☐ ホワイト先生は5か国語を話せる。
(p.30) ☐ 私たちは彼の辞書を使ってもよい。
☐ ここで勉強してもよろしいですか。
— ええ、かまいません。
- You** dropped your key.
I don't have homework today.
It's very hot today.
I'll **have** coffee, please.
Answer the phone, please.
There is a tall tree in the garden.
These shoes **are** Tom's.
Let's have **lunch**.
Open **the** door, please.
Miku is interested in science.
She is not[isn't] good at history.
Is Akira a baseball player?
Does he practice baseball every day?
My mother often **eats** apples.
She is eating an apple now.
My brother **played** tennis yesterday.
He was playing tennis at noon.
It'll[It will] be sunny tomorrow.
I'll[I will] do the gardening.
I'm going to visit some temples.
I'm staying in Nara tomorrow.
Aya has moved to Hokkaido.
I have never been to Hokkaido.
I have known her for ten years.
I had lived in Nagano before I moved to Toyama.
I had never seen the sea until then.
Mr. White can speak five languages.
We can use his dictionaries.
May I study here?
— Yes, certainly.

◆教材配当表：時間数は目安；定期考査や下記以外のページの時間を含めて、年間 70 時間の想定。

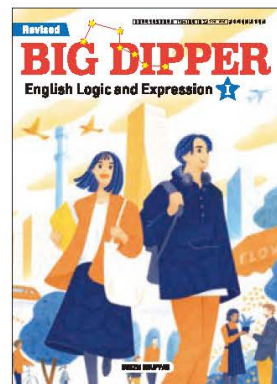
PART 1：基礎的表現（文法）の習得

PART 2：機能表現（言語の働き）の習得

課	タイトル	学習事項	時間数	課	タイトル	学習事項	時間数
1	はじめに①	文の主語	1	1	School Life	勧誘する、提案する	1
2	はじめに②	動詞	1	2	School Subjects	依頼する、理由を聞く・述べる	1
3	はじめに③	名詞・冠詞	1	3	Free Time	確認する、訂正する	1
4	My Friends	否定文・疑問文	1	4	Feeling Well?	心配する、助言する	1
5	My Family	現在・過去・進行形	1	EL5	情報・考えをまとめてみよう！		1
6	Pastime	未来表現	1	5	Housework	義務・必要を述べる	1
7	My Town	現在完了	1	6	The Internet Is Fun	期待・確信を述べる	1
C	辞書を活用しよう！		1	7	I've Lost Your Book	謝罪する、謝罪に応じる	1
8	Our Teachers	助動詞①	1	8	Planning a Trip	計画する、予定する	1
9	Visiting a Museum	助動詞②	1	EL6	発表の仕方や表現を工夫しよう！		1
10	Famous People	文型	1	9	Exchange Students	程度・結果を述べる	1
11	Reading	受け身	1	10	I Want to Be a ...	願望・目的を述べる	1
EL1	短い文章を書いてみよう！		2	11	Cheer Up Your Friend	同情・共感する、励ます	1
12	Studying Abroad	不定詞①	1	12	Farewell Party	感謝する、喜ぶ	1
13	Advice	不定詞②	1	EL7	情報・考えを整理して発表しよう！		1
14	Hobbies	動名詞	1	13	Saving Resources	賛成する、反対する	1
15	My Vacation	分詞	1	14	Social Problems	意見を尋ねる・述べる	1
EL2	文のつながりを示す語句を使おう①		2	EL8	発表を聞いて、自分の考えをまとめてみよう！		1
16	In a Zoo	比較①	1	EL9	競技ディベートを行ってみよう！		1
17	Our Team	比較②	1	* Part 1: Let's Use It!, Part 2: Consolidation は、概ね 2 課に 1 か所挿入する形で掲載。 * C...Column / EL...Express It Logically * 二次元コードにより、各課 Review Exercises、語彙問題 [p.28]、文法のまとめ・解説動画・文法確認テスト [p.146] を参考情報として提供。 * その他、授業での発話集 Classroom English [前・後見返し]、不規則動詞活用表 [p.14]、活動評価のループリック [p.15]、Words & Phrases [pp.87-92]、主要表現まとめ Useful Expressions [pp.146-151] を収録。			
18	Neighbors	関係詞①	1				
19	Speeches	関係詞②	1				
EL3	文のつながりを示す語句を使おう②		2				
20	My Wish	仮定法	1				
21	A Birthday Gift	接続詞	1				
EL4	書いた内容を読み返し、書き直そう		1				

★参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』との連携で、
文法もしっかり定着！

教科書の主要例文は、参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』と連携
するようになっています。参考書との併用で、文法・表現の理解がさらに深まります



教科書

Revised BIG DIPPER
English Logic and Expression I



参考書

改訂版 チャート式シリーズ
BIG DIPPER 高校英語
※2025年10月改訂版発行予定

参考書の詳細は
こちら！



教科書『Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I』



B.E. 9 「～できる」「～してもよい」

- 1 Mr. White **can** speak five languages. ▶ ホワイト先生は5か国語を話せる。
- 2 We **can** use his dictionaries. ▶ 私たちは彼の辞書を使ってもよい。
- 3 **May** I study here? — Yes, certainly. ▶ ここで勉強してもよろしいですか。
— ええ、かまいません。

▲Part1, p.30

Expressions

- 1 A: Will you do me a favor?
B: Sure. What can I do for you?
A: **Can you** show me your textbook?
I forgot to bring mine.
B: Of course.

▲Part2, p.96

Work in pairs. Practice the following dialogs.

実際に使う状況を思い浮かべながら、
「依頼する」「理由を聞く・述べる」表現を
練習しよう。

- 1 お願ひがあるんだけど／～してくれる？
- 2 お願ひがあるんですが

参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』

1 can / could

A 「～できる」〈能力・可能〉

- ◆ Mr. White **can** speak five languages. 53
(ホワイト先生は5か国語を話せる.)
- ▶ 「～する能力がある」「～することが可能である」(＝～できる)の意味を表す。
Can you ride a bike? — Yes, I can. / No, I can't. 〈能力〉
(あなたは自転車に乗れますか。—はい、乗れます。/いいえ、乗れません。)
- ▶ 否定形は **cannot** (can not は使われない)。会話では **can't** がよく使われる。
Lucy **cannot** [can't] swim. (ルーシーは泳げません。)
- ◆ Can you **come** at ten? 〈可能〉 (10時に来ることができますか。)

B 「～してもよい」〈許可〉

- ◆ We **can** use these dictionaries. (私たちはこれらの辞書を使ってもよい) 54
- ▶ 「～することが可能」→「～してもよい」の意味を表す。
You **can** stay here until the rain stops. (雨がやむまでここにいてもいいよ。)
- ▶ Can I ~? / Can we ~? は「～してもよいか」と〈許可〉を求める表現。
否定形は「～してはいけない」〈軽い禁止〉。
Can I talk to you now? — Sure. (今話をしてもいい? — いいよ。)
- ▶ Could I ~? / Could we ~? は「～してもよろしいでしょうか」とていねいに
〈許可〉を求める表現。
Could I ask you a question? — Of course, you **can** (×could).
(質問をしてもよろしいでしょうか。—もちろんです。)
- 受け答えは、could ではなく、can ことに注意。

C 「～していませんか」〈依頼〉

- ◆ Can you **show** me your textbook? — Of course. 55
(教科書を見せてくれる? — もちろんいいよ。)
- ◆ Could you (please) **show** me your dictionary? 56
— Sure. Here you are.
(辞書をちょっと見せていただけますか。—いいわ、はい、どうぞ。)
- ▶ Can you ~? は「～してくれない?」という〈依頼〉の意味を表す。
- ▶ Could you ~? は「～していただけますか」とていねいに〈依頼〉をする表現。

2 may

A 「～してもよい」〈許可〉

- ◆ May I **study** here? — Yes, certainly. 57
(目上の人に対して)ここで勉強してもよろしいですか。—ええ、かまいません。)
- ▶ can にもこの意味があるが(→1-B), may のほうがかしこまった言い方。
You **may** leave early today. (→下 **Have to Use It**)
(今日は早く帰ってよろしい。)(目上の人が子どもや目下の人に対して)
- ▶ 否定形の **may not** は「～してはいけない」〈軽い禁止〉。
Students **may not** enter the room. 〈指示〉(生徒は入室してはいけません。)

Examples of Teaching Procedures

DVD-ROM

Teaching Procedureは、本来、各学校・クラス・講座の状況や実態に合わせて創造的に工夫されるべきものであろう。また、同一クラス・講座でも、生徒集団の変化に応じて軌道修正も必要になるはずである。それらの点を踏まえたうえで、授業の進め方のマスタープランを提示する。以下は、その参考にしていただくためのものである。

Part 1 Lesson 6

教授資料の
詳細はこちら！



※ 1. 文法事項の解説は、基本的に日本語で行うこととする。

2. 英語での発話例について、◆で示しておく。([Name] は適宜生徒の名前を記入する。)

		Time	Total Time
1	Roll call and small talk 1. small talk の例は、本書 p.68 を参照。また、教師が自分の趣味について話してもよい。 2. 教師が話すだけでなく、生徒に ◆ What is your favorite pastime? / What is your hobby? などと尋ね、その応答に対して、教師または他の生徒から質問させることも考えたい。その場合は、即興でのやり取りを行うことになる。	3	3
2	Explanation of the grammatical points 注：ハンドアウト* 配付による説明も可 (*TM 付属 DVD-ROM に収録) B.E.5 未来を表す will 1. 例文①② に関し、〈will + 動詞の原形〉の形と文の意味を確認する。 ① 未来の予測・自然の成り行き ② 意志 2. 必要に応じて、疑問・否定の形を説明する。また、when, if, until[till] など、時や条件を表す接続詞に導かれる節の中では、未来のことを表す場合でも、現在形を用いることに注意させてもよい。Ex) I'll stay here until you <i>finish</i> your homework.	3	6
3	Let's Check It! 1. Let's Check It! 5 を解答させる。 ◆ Now, try the <i>Let's Check It!</i> questions. Put the words in the blanks corresponding to the Japanese in brackets. ... [Name], what's the answer to question number one? ... Good. "I think it will rain soon" is a good answer. ※ (1)(2) は例文①を、(3) は例文②を参照させる。(1) は「黒い雲が見える」という状況から空所の内容を類推させてもよい。また、(2) probably(おそらく)は確信度が高い点、(3) too は否定的な「重すぎて運べない」という含みがある点について解説する。 2. 生徒の解答を確認したあと、モデルとなる英文を提示して音読させる。英文は棒読みにならないように、実際に使う状況を意識して、意思や感情を込めて読むことに留意させる。1) 教科書を開いて、2) 教科書を閉じて、3) 文末からフレーズ読みをさせて最後は全文を暗唱するなど、いくつかの音読パターンを組み合わせた活動を行いたい。 ◆ 1) Now let's go on to the reading practice. Repeat after me with the textbook open. 2) Next, close your textbooks and repeat after me once again. 3) Now keep your books closed and repeat after me again. This time I'll read each sentence slowly, starting with just a short phrase, and adding on a few words each time. 注：3) は "practice → the reading practice → go on to the reading practice → Now let's go on to the reading practice." のように、小さなユニットからコロケーションを発展させて英文を構築していく方法を音読で体感させるやり方。英語（フレーズ）を保持し、復唱することにより、定着を図ることが可能となる。これは expansion drill	6	12

指導手順案

授業展開のサンプル

→「英語で授業」に対応するように、
英語の発話例を充実させていま
す！

A Sample Teaching Procedure for an ALT

DVD-ROM

Part 2

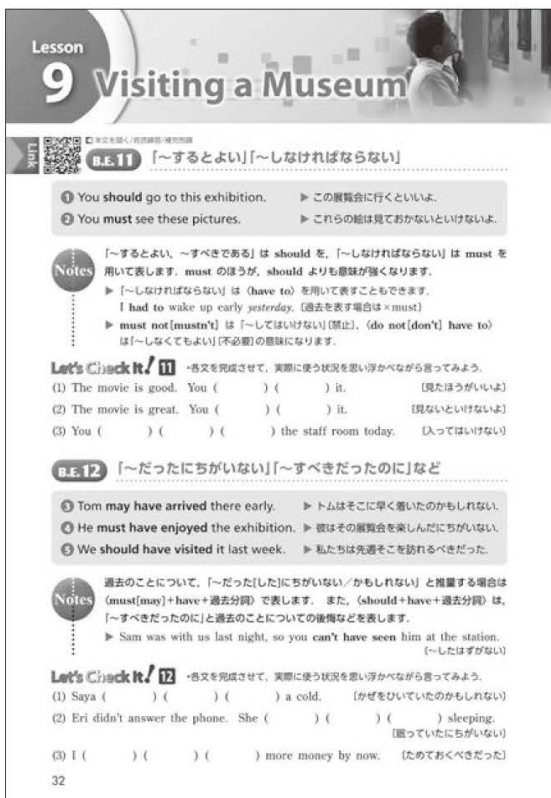
Lesson 5

※別冊の Teacher's Book に Part 2 各課の A Sample Teaching Procedure を掲載しています。

		Time	Total Time
1	Roll call ◆ Good morning everyone. Is anybody absent today? ... Well, let's begin.	1	1
2	Collecting the assignment for the previous lesson (cf. 9) ◆ Hand in the assignment for the previous lesson. Pass the worksheets forward. ... Thank you.	1	2
3	Listen and Answer 1. Have some students answer the questions in <i>Listen and Answer</i> . ◆ Now let's begin Lesson 5. Open your textbooks to p.108. Listen to the dialog and answer each question. ◆ Now, let's check your answers. What's the answer to question ①? [Name], could you please tell us your answer? ... Good! The answer is "a lot of homework." ◆ Question ②. Before checking the answer, let's see which process of cooking each picture shows? [Name], could you describe what is shown in picture (1)? Please answer in English. Ans. (1) peeling a potato (2) cutting a potato (3) mashing a potato Note: If a student seems unable to answer in English, have them answer in Japanese. ◆ Why don't you answer in Japanese, then? ◆ What's the answer to question ②? Great. The answer is (1). Mark's mother said she wanted him to peel some vegetables. ◆ Next, what's the answer to question ③? Very good. When he heard his mother was making beef stew, he said, "Fantastic! I love beef stew," so the answer is "beef stew." 2. Ask students about the vocabulary from <i>Listen and Answer</i> . ◆ Now, let's make sure of the vocabulary in the dialog of <i>Listen and Answer</i> . First, "peel." Repeat after me. "peel some potatoes" What else do we peel? "peel an apple" "peel an orange" "peel a banana" Next, "beef stew." Be careful about the pronunciation of "stew." Repeat. "stew"	7	9
4	Expressions 1. Have students practice the dialogs. ◆ Now, let's practice the dialogs in <i>Expressions</i> . Repeat after me. 2. Have students work in pairs. ◆ First get into pairs and then play the roles of A and B. 3. Have students present the dialogs. ◆ Now, let's watch dialog ① as a presentation. Any volunteers? / No? OK, how about [Name] and [Name], please? ※ Have students present dialogs ② and ③ in the same way. ◆ Next, let's make your own dialogs by changing the underlined parts. Practice the dialogs you have made. ◆ Now, let's watch an original dialog as a presentation. Any volunteers? / How about [Name] and [Name], please?	8	17

ALT 用指導手順案

「英語で授業」にも活用可能なサンプル
→ Teacher's Book および 付属
DVD-ROM に、Part 2 全課分
を収録！



本課の目標：以下の用法を習得する。

- ① 助動詞 *should*, *must* (助言・義務・必要) の用法
- ▶ *have to* [義務・必要], *must not* [mustn't] [禁止], *do not* [don't] *have to* [不必要] の用法
- ② <*may* [must] + *have* + 過去分詞> [過去に対する推量], <*should* + *have* + 過去分詞> [過去の非実現の行為] の用法
- ▶ <*can't* [cannot] + *have* + 過去分詞> [過去に対する否定的推量] の用法

観点別評価のポイント

DVD-ROM

① 知識・技能

- a. 英語で「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。
- b. 身近な人に対して提案や必要などを伝えたり、また、身近な人の過去の行動・状況などを推測したりして、コミュニケーションを図る技能を身につけている。
- c. ポイントとなる助動詞の用法のほかに, *exhibition*, *enter the staff room*, *have a cold*, *museum exhibit* などの語彙や表現を習得している。

② 思考・判断・表現

- a. 適切な場面において, *should*, *must*, *have to* を用いて「助言・義務・必要」の意味を表現したり, *must*

not [mustn't] を用いて「禁止」の意味を, *don't have to* を用いて「不必要」の意味を表現したりする。

- b. 適切な場面において, *may* [must, can't] + *have* + 過去分詞を用いて「過去に関する推量」の意味を表現したり, *should* + *have* + 過去分詞を用いて「過去に関する後悔」の意味を表現したりする。
- c. 「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」に注意して, 個々の英文の内容を理解し, 適切な思考・判断をもってそれに応答する。

③ 主体性

- a. ②の各場面において, 適切な表現を用いて自分の考えを述べたり, 相手の考えを述べたりする。
- b. その場面で, 適切な表現を用いて自分の考えを述べたり, 相手の考えを述べたりする。

Part 1 左ページ解説 ①

本課の目標, 観点別評価のポイント, 中学での学習状況, *small talk* など
→ 導入部分からしっかりサポート!

中学での学習状況

- ① *should* は中 2 用の教科書で扱われるが, 各課の主要文法事項ではなく, 比較的軽い扱いとなっている場合が多い。 *must* との意味の差など, 細かい語法は理解されていない可能性が高い。
- ② *must*, *have to* は概ね中 2 で学習する。表現活動の課も含めて, 各課の主要ポイントとして扱われることが多い。これらの否定表現 (*mustn't* [禁止], *don't have to* [不必要]) で, 混乱する生徒が多い。
- ③ <助動詞 + *have* + 過去分詞> の用法は, 中学では学習していない。完了形不定詞などと同様, 概念として理解が難しい項目である。

◆ Small Talk

Yesterday morning when I met Mr. Hosoda, I said to him, "I'm going to visit the municipal museum with Kate tomorrow. If you have time, will you join us?" He replied that he'd love to. But when we met him in the afternoon, he said, "I've just remembered that I have to prepare the vocabulary quiz for next week." I said, "That's OK. Your work is more important. But why not join us after you've finished making the exam?" He said he would, and we made an appointment to meet at the ticket office at 1:30.

学習事項の解説

CD I-61~64

- ⑪ *should*, *must*, *have to* の用法 ③ pp.106, 109
- (a) *should* は「～するといいい, ～すべきである」のように「助言・義務」を表す。「～すべきである」という日本語は比較的強く響くが, *must* [義務・必要]

ほどの意味の強さはない。

Should is not as strong as *must* or *have to*.
You should apologise.

(=it would be a good thing to do)

You must apologise. / *You have to apologise.*
(=you have no alternative) <Murphy (2019: 66)>
なお, *shouldn't* は「～するのはよくない, ～すべきではない」と否定的助言 [義務] を表す。また, *should* と *ought to* はほぼ同義であり, しばしば交換可能である。 <Swan (2016: 76.1)>

- (b) *must* は「～しなければならない」と強い必要性を表す。 *have to* は概ね *must* と同様な意味となる。

1. *have to* /hæftə/, *has to* /hæstə/ の発音に注意。
2. 過去を表す場合 (→▶) や, 他の助動詞と併用する場合は, *have to* を用いて表現する。

You will have to pay extra fees.

(追加料金を支払わなければならないだろう)

3. *must* は話し手が課す主観的な義務を表し, *have to* は外的要因による客観的な義務を表す, と区別される場合がある (特に *BrE*)。<Swan (2016: 73)>。ほぼ同様な意味で *Do I have to ~?* が用いられるが, こちらのほうが頻度が高いのは, 客観性が高く直截な印象が避けられるためであろう。
- (c) 否定形の *must not* [mustn't] (～してはいけない) は禁止 (obligation not to do) を, *do not* [don't] *have to* (～する必要はない) は不必要 (no obligation to do) を表す。

Let's Check It! ⑪ 解説

◆ Now, try the *Let's Check It!* questions. Put the words in the blanks corresponding to the Japanese in brackets.

- (1) (2) 例文①②を参照。①「勧めるとき」は, 「見るほうがいいよ」という意味で, 「助言」を表す *should* を用いる。②「強く勧めるとき」は「見ないといけないよ」という意味で *must* を用いる。
- (3) 「禁止」を表す *must not* [mustn't] を用いる。空所の数から, 短縮形 *mustn't* を用いる場合は, 残り 2 語を *go* [come, get] *in(to)* とする。 *enter* は他動詞なので, *enter the staff room* となる点に注意。

⑫ <助動詞 + have + 過去分詞> の用法 ③ p.117

- (a) 学習者には, まず最初に当該の助動詞の意味を確

認しておく。 B.E.10.11 を適宜参照させる。

must: ~にちがいない / *may*: ~かもしれない

can't: ~のはずがない / *should*: ~すべきだ

- (b) 後続する原形の部分が <*have* + 過去分詞> になると, *must*, *may*, *can't* は過去の出来事に関する推量, *should* は過去に実行されなかったことに対する後悔・非難などを表すこととなる。前者は「～する[である]にちがいない」が「～した[であった]にちがいない」などの意味になり, *should* は「～

Part 1 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説

→ 的確な文法解説, 演習時の英語の指示文など充実した内容!

Let's Check It! ⑫ 解説

◆ Now, try the *Let's Check It!* questions. Put the words in the blanks corresponding to the Japanese in brackets.

- (1) 「～かもしれない」の *may* に *have* + 過去分詞を続ける形。なお, *Saya may have caught a cold* とすると, *Saya is still ill now* の含意が生じ, 日本語は「かぜをひいたのかもしれない」となる。
- (2) 「～にちがいない」の *must* に *have* + 過去分詞を続ける形。進行形の場合は, <*have been doing*> のように *be* が過去分詞となる。
- (3) 「～べきだ」の *should* に *have* + 過去分詞を続ける形。「[お金をためる]」は *save* を用いる。

Let's Check It! 解答例

DVD-ROM

- ⑪ (1) *should see* [watch] (2) *must see* [watch] (3) *must not enter* / *mustn't go* [get, come] *in(to)*
- ⑫ (1) *may have had* (2) *must have been* (3) *should have saved*

英文の和訳例

DVD-ROM

⑪ Notes

▶ 昨日は早くおきなければいけなかった。

⑫ Let's Check It!

- (1) この映画はいいね。見たほうがいいよ。
(2) この映画は素晴らしい。見ないといけないよ。
(3) 今週, 生徒は職員室に入ってはいけません。

※p.89に続く。

Can-do





必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。
 推し物や行動・活動などについて、英語で表現できる。

Activity

A () 内の語のうちより適切なほうを選んで、完成した文を書いてみよう。
 [(1) (2) (3) (4) → 6.11, (5) (6) (7) → 6.12]

(1) We (should / shouldn't) read that book. Many people recommend it.
 (2) When you play sports, you (must / mustn't) follow the rules.
 (3) You (mustn't / don't have to) tell him everything. It's your choice.
 (4) I (must / had to) go to the dentist after school yesterday.
 (5) I can't find my pencil case. I (must / should) have left it at home.
 (6) Kana (may / can't) have said such a terrible thing. She's a very nice girl.
 (7) I overslept. I (can't / should) have set the alarm.

B 写真・イラストの内容を基に空所を埋めて、完成した文を書いてみよう。
 [(1) (2) → 6.11, (3) (4) → 6.12]

(1)  (hurry)  (touch)  (miss)  (practice)
 (1) We _____, The meeting will begin soon.
 (2) You _____ the museum exhibits.
 (3) Bob hasn't arrived yet. He _____ the bus.
 (4) I _____ more before the concert.

Express Yourself! ① 次の話題について表現し、② 対話してみよう。
 ▶ Tell what happened and give your conclusion.

① Ex John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy.
 I had a very bad score on the exam. I *should have studied* harder.

② Ex A: John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy.
 B: I think so, too. He is very interested in Japanese pop.
 ▶ Let's Use It! (p.35) ▶ 対話を続け、発表してみよう。

Part 1 33

活動の解答例

DVD-ROM

A (1) should (2) must (3) don't have to
 (4) had to (5) must (6) can't (7) should

B (1) must[have to, should] hurry
 (2) mustn't[shouldn't] touch
 (3) He may[must] have missed
 (4) I[The girl] should have practiced

EY Risa said she wanted to go to the library, so she may have been there.
 Tom had been swimming for about two hours, so he must have been satisfied.
 I made a serious mistake at the piano contest. I should have practiced the piano harder.

Activity 解説

CD I-65~66

A 文脈に適した助動詞を含む表現を選ぶ。

- (1) 第2文の「たくさんの人が勧めている」という状況から「読むべきだ、読んだほうがいい」という意味を表現する。recommend /rɪkəˈmɛnd/ (～を勧める、推薦する)の意味に注意。
 (2) 第1文の「スポーツをするときは」に合致させる。follow /fɒˈləʊ/ は「～に従う」の意味。
 (3) 第2文の It's your choice. (あなたが決めるこ

とです)に合うのは don't have to [不必要] となる。mustn't [禁止] では文脈に合わない。choice /tʃɔɪs/ は「選択権」などの意味。The choice is yours. という表現もある。また、not ~ everything (すべてを～するわけではない) [部分否定] の意味に注意。cf. You *don't* have to tell him *anything*. (何も言わなくていい) [全部否定]

- (4) 文末の yesterday に注意。過去を表す場合は had to を用いる。dentist /dɛntɪst/ は「歯医者」。
 (5) 第1文の「見つからない」という状況から、「家に置いてきたにちがいない」と過去の推量を表現する。must have done は certainty about the past を、should have done は unfulfilled past obligations を表す。<Swan (2016): 69.4, 76.2>
 (6) 第1文の a terrible thing と、第2文の a very nice girl という相反する内容から、否定の推量を表す can't を選択する。
 (7) 第1文の overslept という状況を招かないようにするため、「目覚ましをセットしておくべきだった」という意味を表すように should を選ぶ。overslept /ˌɒvərslept/ は oversleep /ˌɒvərsliːp/ (寝過ごす) の過去形 [なお、sleep over は「[子どもが他人の家に] 泊まる」 (= stay the night at sb) 文中の set

Part 1 右ページ解説 ①

各活動の解答例、文法・語法解説

→ 各小問について、文法・語彙などを詳細に説明しています!

[] に示さる。 [] から「急がない」という文を作る。話者の心的態度により must, have to, should のいずれを用いてもよい。have to の場合、「会議」という外的要因によることが含意される場合がある。

- (2) 「(美術館で) 展示品に触れてはいけない」という文脈から、「禁止」を表す mustn't, または shouldn't を用いる。exhibit = something, for example a painting, that is put in a public place so that people can go to see it: All *exhibits* are listed in the catalogue. <LDOCE>
 (3) ボブがまだ到着していない状況から、過去のことに関し「～だった [した] かもしれない [にちがいない]」と推量する <may[must]+have+過去分詞> を用いる。
 (4) コンサートでうまく演奏できなかった様子から、過去のことにについて「～すべきだったのに」と後悔を表す <should+have+過去分詞> を用いる。

Express Yourself! 解説

CD I-67

① 過去に関する推量や後悔の表現を用いる。生徒の日常に即した状況で、自由に考えさせる。以下に、例をいくつか挙げておく。生徒の習熟度などにより、ヒントとして与えてもよい。

(1) 「過去に関する推量」の用例

may have gone home (家に帰ったかもしれない)
 may have changed her smartphone (スマホを変えたのかもしれない)
 may have left my commuter pass at home (家に定期券を忘れたのかもしれない)
 must have rained during the night (夜の間に雨が降ったにちがいない)
 must have left home (家を出たにちがいない)
 must have read the novel (その小説を読んだにちがいない)
 must have bought the PC (そのパソコンを買ったにちがいない)

(2) 「過去に関する後悔」の用例

should have gone to bed earlier (もっと早く寝ておくべきだった)
 should have taken an earlier train (もっと早い電車に乗っておくべきだった)
 should have taken medicine (薬を飲んでおくべきだった)
 should have taken the attendance (出席をとっておくべきだった)

② 「過去の推量」に関しては、Ex で示したように、賛成 (または不賛成) とその理由を述べるなどする。「過去に対する後悔」については、相手の過失に対して、It's okay to make mistakes. You'll do even better next time! [励まし] や、It happens to all of us, but you really need to manage your time better. [共感と忠告] などと応答することが考えられる。

英文の和訳例

DVD-ROM

⑫ Notes

▶ サムは昨晚私たちと一しょにいたので、あなたが彼を駅で見かけたはずはありません。

⑫ Let's Check It!

- (1) サヤは先週気分が悪そうだった。かぜをひいていたのかもしれない。
 (2) そのドラマはおもしろかった。君はそれを見るべきだったのに。
 (3) ジムは電話に出なかった。寝ていたにちがいない。

Activity

A

- (1) 私たちはその本を読んだほうがいい。多くの人がそれを勧めているので。
 (2) スポーツをするときは、そのルールに従わなければなりません。
 (3) 彼にすべてのことを言う必要はありません。それはあなたが決めることです。
 (4) 昨日の放課後に歯医者に行かなければならなかった。
 (5) 筆入れがみつからない。家に忘れてきたにちがいない。
 (6) カナがそんなひどいことを言ったはずがない。とてもいい子だから。
 (7) 寝過ごしてしまった。目覚ましをセットしておくべきだった。

B

- (1) 急がないと。もうすぐ会議が始まるよ。
 (2) 美術館の展示品に触ってはいけません。
 (3) ボブはまだ到着していません。彼はバスに乗り遅れたのかもしれない [にちがいない]。
 (4) コンサートの前にもっと練習すべきだった。

EY ▶ 何が起きたかを話し、結論を言いなさい。

Part 1 右ページ解説 ②

活動の展開事例・語句解説、英文和訳例、補充問題

→ 表現活動のヒントとなる別解・補充問題を豊富にご用意!

◆ 補充問題 次の文を英語に直しなさい。 DVD-ROM

- (1) 私たちは交通ルールを守るべきです。
 (2) 君は明日までにレポートを提出しなければなりません。
 (3) あなたは約束を破ってはいけません。
 (4) サキはまだ到着していない。彼女は違うバスに乗ったかもしれない。
 (5) 全てのチケットは完売です。先週買っておくべきでした。

[解答例]

- (1) We should obey traffic rules.
 (2) You must hand in your paper[essay, report] by tomorrow.
 (3) You mustn't[must not] break your promise.
 (4) Saki hasn't arrived yet. She may have taken a wrong bus.
 (5) All the tickets were sold out. I should have bought one last week.

Express It Logically 2

文のつながりを示す語句を使おう①

1 時間の順序に従って書いてみよう

ある一日の出来事を、時間の経過に従って書いてみましょう。「午前中」「午後」など時間そのものを表す表現だけでなく、次のような文のつながり（つなぎ表現）を使って、順序よく伝えましょう。

next (次に), then (それから), after that (その後), later (後で)

Ex.) I had a good day last Sunday. I got up at eight and had breakfast. Then I studied English and math all morning. I ate lunch at twelve. In the afternoon my friend Hiroko came over. We talked a lot about school and our club activities. After that, we went to the park near my house and played badminton. We got home at five.

＜例をヒントにして、この朝の日曜日にしたことを書いてみよう＞

2 理由をいくつか挙げながら書いてみよう

相手に自分の意見を述べるときは、なぜそう思うのかという理由を示すと説得力があります。いくつかの理由を、順番に示しながら書いてみましょう。

「私は、～だと思います。」 ← 最初に自分の意見を書く。
「それは、三つの理由があります。」 ← 理由がいくつあるかを示す。
●第一に(まず)、～だから。 ← 以下、順番に理由を書く。
●第二に、～だから。 ●第三に(最後に)、～だから。

Ex.) Having friends is important to us. There are three reasons for this. First, friends share their knowledge with us. This broadens our point of view. Second, we can enjoy our free time with our friends. Third, our friends help us when we are in trouble. Of course we can live without friends, but if we have friends, our lives will be more pleasant.

● share 分かち合う ● broaden 広げる ● a point of view ものの見方 ● in trouble 困った

1 解説

CD II-29

(a)本課では、パラグラフの展開(development)について取り上げる。学習指導要領解説には、指導上の配慮事項として、「つながりを示す語句を適切に用いて、論理の展開が明確な文章を書いたりすることができるように指導する必要がある」と記載されている。それぞれのパラグラフの展開に見られる特徴的な表現を理解し、それを実際に活用するように指導することが肝要である。

(b)①では「時間の順序」(time[chronological] order)のパラグラフ展開法を扱う。これは「時間」を展開の軸として、順を追って事象を述べていくもので、物語文、日記などを書くうえで不可欠な手法である。物事を順序立てて記していくための「つなぎ語」を用い、各文の一貫性が高まるように文章が記される。

(c)「つなぎ語」としては、解説部分に挙げた next などの順序を明示する語句がある。このほか、例文中に示されている last Sunday, at eight など、時間という視点で前後の内容をつなぐ役割を果たしている。文章は常に実際の時間順で示されるとは限らないので、物語文などを読み書きするうえでは、これらの語句に十分に注意を払う必要がある。

(d)なお、「つなぎ語」は linking words や signal words(シグナルワード、合図語)と呼ばれる。また、

その一部は discourse marker(談話標識)と呼ばれることもある。

1. **last Sunday** 前置詞が不要である点を確認する。this week, that day など同様。ただし、that は前置詞 on を伴う場合もある。
2. **all morning** 「午前中ずっと」 <all+時間を表す名詞> で副詞句になる。この名詞は「短すぎる[長すぎる]時間」では不可。よって all year[week, day, night, summer] は可だが、×all minutes, all decade[century] は不可である。all hour も不自然とされる。(『英語基本形容詞・副詞辞典』)
3. **come over** 「[話し手の家に] やって来る」
4. **after that** 「それから、その後」 順を追って物事を述べるときに、比較的よく用いられるフレーズ。After that, we had a meeting about the game.
5. **badminton** /bædmɪtn/ 「バドミントン」 最初にこのゲームが行われた、イギリス Gloucestershire 州にある Duke of Beaufort の領地の名前に由来する。(『英語語源辞典』)

【解答例】

DVD-ROM

I had a good day last Sunday. I got up at seven thirty and had breakfast. I cleaned my room from nine to ten, and then I watched a DVD of a Korean drama till around eleven thirty. I ate lunch at twelve. In the afternoon I went shopping at the department store with my mother. She bought me a nice bag. After that, I came back home and watched TV with my family.

2 解説

CD II-30

(a)②では「主張と理由づけ」(claim and reasoning [opinion and reason])の展開法を扱う。説明文(主張文・意見文)における典型的なパラグラフ展開の手法で、冒頭で topic sentence として自分の意見・主張を述べて、その後の supporting sentences で理由を補足していく展開をとる。自分の主張する内容の正当性を高めるため、その根拠となる理由づけを明確に行うことが重要となる。

(b)理由づけの部分は説得力をもたせるために、複数の理由を述べるのが望ましい。この部分には列挙の表現 (First, Second, など) を用いると、読み手に対して明快な伝達が可能となる(ただし、これらの表現を日常の話題に関するエッセイなどに多用すると、あまりに形式的な印象を与えかねないので、その点には注意する必要がある)。

(c)複数の理由を述べる場合、2つの理由の場合は、第

一義的な理由を(主張に近い位置において)最初に述べ、その後に第2の理由を補足するのがよい。3つ以上の理由があるときには、基本的には重要度に応じて理由を列挙すればよいが、主張を効果的に伝達するため、最後の部分に重要と考えられる理由を置くこともありえる。

(d)なお、例文に関し、最後にまとめ文(concluding sentence)が置かれている。これは、主題文の内容を反復して補強したり、少し違う角度から主題について述べたりすることで、文章全体を総括するような働きをもつ文となる。

2. **share ~ with ...** 「～を…で分かち合う、共有する」
The little girl shared her toys with her friend.
(おもちゃを友だちといっしょに使った) <NHD⁵>

2. **knowledge** /nɑ:ldʒ/ 「知識」 発音注意。

=understanding of or information about a subject that you get by experience or study, either known by one person or by people generally: Her knowledge of English grammar is very extensive. / He has a limited knowledge of French. / The details of the scandal are now common knowledge (=familiar to most people). <CALD⁴>

2. **broaden** /brɔ:dn/ 「広げる」 broad /brɔ:d/ (広い)の動詞形。oa の発音に注意。

=to make s.t. wider or larger: Workers broaden the road. / She broadened her knowledge of accounting by taking more courses. <NHD⁵>

3. **point of view** 「ものの見方」 =viewpoint. ここで単数形となっているのは、「個々の(1つの)見解が広がっていく」ことを示唆するため(ネイティブのコメントによる)。

4. **in trouble** 「困った、困っている」ここでは“in a situation with a lot of problems” <LDOCE⁶>の意味で用いられているが、「[処罰される、怒りを買うようなことをして] やっかいな[めんどうな]ことになる」といった意味にもなる。

I think I'm in trouble with Dad. <LDOCE⁶>

4-5. **Of course ~, but....** 「もちろん～だが、…である」譲歩の構文で、友人をもたない生活というのも一応は認めたくえて、「やはり…である」と but 以下の内容を主張する表現方法である。主題の内容をやや違うことばで再度述べている。

6. **pleasant** /pleznt/ 「(人にとって)楽しい、心地よい」pleased 「[人が] 喜んで、気に入っている、うれしい」と混同しないように注意。

【解答例】

DVD-ROM

＜次の文に続けて、いくつか理由を挙げて文章を書いてみよう＞

I think that English is important in our lives. There are reasons for this. First, ... Second, ... Third, ...

2 例を挙げながら書いてみよう

相手に何かを説明する場合には、具体的な例を挙げながら説明するほうがずっとわかりやすくなります。そういうときには、次のようなつなぎ表現が便利です。

for example (例えば), for instance (例えば), such as (～のような), like (～のような)

Ex.) Different people like different foods. For example, my father likes Chinese food, such as ramen and gyoza. My mother likes Japanese food. She is a good cook and has a lot of recipes. My sister likes Italian food, like pasta and pizza. I like hamburgers and sandwiches because they are delicious and we can eat them very quickly.

● a recipe レシピ、調理法 ● delicious とてもおいしい ● quickly 速く

＜例をヒントにして、家族の好きな食べ物について書いてみよう＞

Let's write more!

1. 自分のこれまでの経歴について、簡単にまとめてみよう。[→③]

Hint 生まれた年、学校に入学した年などを時間順にまとめ、それによって、所々に簡単なエピソード(習得したことやクラブ活動など)を交えて書いてみよう。

2. ある人が自分たちのリーダー(キャプテン・部長・委員長など)として適任であることを表す文章を、理由をいくつか挙げながら書いてみよう。[→③]

3. 自分の周りの人たちの趣味や好みに関して、例を挙げながら説明する文章を書いてみよう。[→③]

I think that English is important in our lives. There are three reasons for this. First, we can use English to talk with people from other countries. Second, we can use English to get information from the Internet. Third, we can understand notices and explanations written in English when we go abroad. So I think knowing English is a must these days.

3 解説

CD II-31

(a)③では「例証」(illustration)のパラグラフ展開法を扱う。主題文で述べられた一般論・抽象論を、適切な具体例により支持して、パラグラフをまとめている。

Express It Logically 解説 ①

学習事項の概要説明、語句解説・解答例、目的で具体相手の理解度、べきである。、客観性の高い論文等であれば、信頼できる source からの情報(統計データ)の引用などが効果的である。ただし、教科書に掲載した例では、自分の家族の嗜好を引き合いに出すなど、それほど堅い文章にはなっていない。このような場合は、読み手を意識して、あまりに無味乾燥なものとならないように、第4文の She is

a good cook....などを挿話的に記すのもよい。

(d)つなぎ語としては、解説で挙げた for example [instance] が代表的である。比較的堅い話題を扱う論説文などでは、The first example is..., Another example is....などの表現もつなぎ語として使用される。また、such as, likeなどの表現は、主題文を支持するものとはかぎらず、支持文の内容をさらに詳細に、具体的に説明する際にも用いられる語である。

1. **different foods** ここでは「さまざまな種類の食べ物」を表現しているの、可算名詞(複数形)扱い。cf. We ate a lot of *food*. (多くの量の食べ物)

1. **for example**/ɪgʒæmpl/ 「例えば」 You use *for example* to introduce and emphasize something which shows that something is true: Take, *for example*, the simple sentence: 'The man climbed up the hill'. <COBUILD¹⁰>

2. **such as** 「～のような」

He collects musical instruments, *such as* trumpets and guitars. <NHD⁵>

3. **recipe**/ˈresəpi/ 「レシピ、調理法」 発音注意。古くは「処方箋」の意味であったが、それが転じて「調理法」の意味に定着した。さらには以下のような「原因」の意味にも用いられる。

She said that five small boys on skis was a *recipe* for disaster, not a holiday. (5人の子どもがスキーをするなんて災いのもとだ) <LDOCE⁶>

4. **pasta**/ˈpɑːstə/ and **pizza**/ˈpiːtsə/ ここではいずれも不可算名詞扱いである (cf. 次の hamburgers, sandwiches は可算名詞となっている)。

5. **delicious**/ˈdlɪʃəs/ 「とてもおいしい」 アクセント注意。=having a very pleasant taste or smell <OALD¹⁰> と、もともと very を含意しているので、very による修飾はあまりない。なお <OCD²> では共起する副詞として incredibly, most, really, truly, absolutely, quite, rather が挙げられている。

5. **quickly**/kwɪkli/ 「すばやく」 ちなみに quick の原義は「生き生きとした、活発な (alive, animated <ODE³>)」である。

[解答例]

DVD-ROM

Different people like different fruit. For example, my father likes peaches. My mother likes summer fruits, such as watermelon and grapes. My brother does not like fruit very much. He eats sweet cakes, *senbei*, and so on. But he drinks orange juice every morning.

Let's write more

DVD-ROM

①②③で学習した内容を参考に文章を書く練習を行う。

1. I was born in Midori-machi in 2006. I entered Sakura Preschool in 2010. When I was in preschool, I liked trains very much. In 2013, I entered Sumire Elementary School. I began playing baseball in 2016, and I have been playing it ever since. In 2019, I entered Ayame Junior High School. I practiced baseball very hard every day, and when I was in the third grade, our team competed in the semifinals in the prefectural tournament. I did not study very much in junior high school, but I began to study harder when I entered this school in 2022. Now I enjoy my high school life with my friends.

2. I think Daigo is a good captain for our team. There are three reasons for this. First, he is the best player of us all. Second, he is a very diligent person and always practices hard. Third, he is good at cheering us up. I believe Daigo is the best person to pull us together.

3. Different people like different animals. For example, my friend Kayoko likes small dogs, like Chihuahuas and miniature dachshunds. Another friend, Takeshi, likes large dogs. I like cats, actually. I have two cats in my house. They are quiet and cute.

英文の和訳例

DVD-ROM

① 先週の日曜日はいい1日を過ごしました。8時に起床して朝食を食べました。それから午前中ずっと英語と数学を勉強しました。12時に昼食を食べました。午後、友人のヒロコが家に来ました。私たちは学校やクラブ活動についてたくさん話をしました。その後、家の近くの公園に行ってバドミントンをしました。5時に家に帰りました。

② 友人をもつことは私たちにとって大切です。これには3つ理由があります。第一に、お互いの知識を分かち合えます。このことでもものの見方が広がります。第二に、自由な時間をいっしょに楽しめます。第三に、困ったときに友人は助けてくれます。もちろん、友人なしでも生きられますが、友人をもっていれば、私たちの人生はより楽しいものになるでしょう。

③ 人の食べ物の好みはさまざまである [さまざまな

人々がさまざまな食べ物を好む]。例えば、父はラーメンやギョーザのような中華料理が好きだ。母は日本食が好きだ。母は料理がじょうずでレシピがたくさんある。姉はパスタやピザのようなイタリア料理が好きだ。私はハンバーガーやサンドイッチが好きだ。とてもおいしくて、とても早く食べられるからだ。

Further Activities ②

DVD-ROM

CD II-32~36

① 旅行や遠足の経験について、40語以上の短い文章を書きなさい。next, then, after that, laterなどの時間順を示す語句を使いなさい。

*身近な経験を素材として、時間順のパラグラフ展開を活用する問題である。いつ旅行に行つて、その行程はどうだったかを時間順に述べるようにする。

・ **excursion** /ɪkskʊˈrʒən/ 「小旅行、遠足」

= a short journey arranged so that a group of people can visit a place, especially while they are on holiday. <LDOCE⁶>

② 次の絵が示す物語を、ペアの相手に話しなさい。時間順を表す語句を使いなさい。

*資格・検定試験でも出題がある形式の、4コマ漫画で表現される状況を描写する問題である。時間順を示す語句を用いて、以下の内容について起承転結を明確に記すことが肝要である。

① 同じ電車に乗っていた紳士が帽子を忘れたことに気づいた。

② 帽子を持って電車を降りた。

③ 帽子を紳士に渡し、紳士から感謝された。

④ 電車のドアが閉まったときに、自分のカバンを忘れたことに気づいた。

・ **the story shown in** 「～に示される物語」

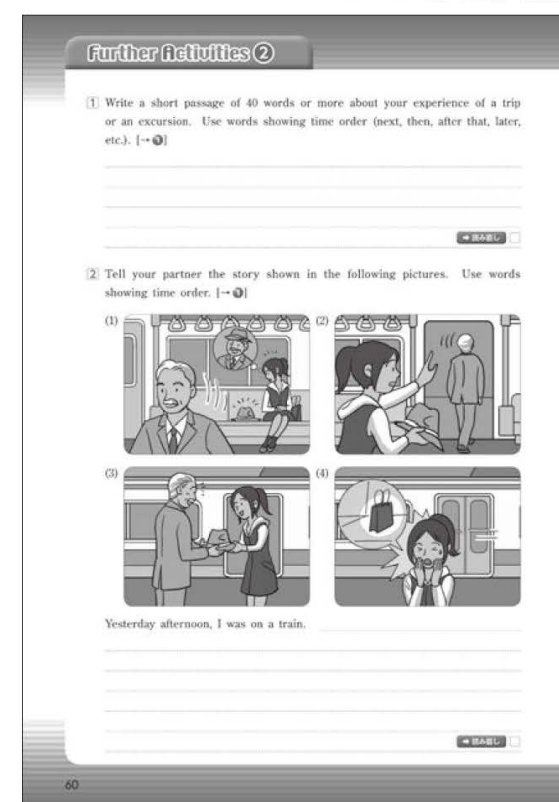
shown ... は L15 で学習した過去分詞句の後置修飾である。show は「～を示す」の意味。Mike needed a copy of the will to *show* that the books had been left to him. <LED>

③ 次の質問に答えなさい。first, second, third や also のような語句を使って、2つか3つの理由を述べなさい。40語以上の長さで解答を書くこと。

(a) 外国語を学ぶことは重要だと思いますか。

(b) スマートフォンは勉強に役だつと思いますか。

*まず自分の意見を I think/do not think.... と示す。これを主題文として、first, alsoなどの語で理由を表す指示文を列挙していく。「40語以上」の指定があるので、例えば、以下のような構成で、



① I think / don't think....

② I have two reasons for saying this.

③ First,[理由と具体例]

④ Also,[理由と具体例]

4～6文程度の文章にまとめる。

・ **in length** /lɛŋkθ/ 「長さで」 length は long の名詞形。cf. strong(強い) > strength(強さ) cf. at length(長々と、詳細に) = in great detail and taking a long time: She talked *at length* about her work in hospitals. <OID²>

・ **help with** 「～を手伝う、～に役だつ」

He always *helps with* the housework. <OALD¹⁰> 「(金銭などを)援助する」の意味もある。My dad said he would *help with* the costs of (=give part of the cost of) buying a house. <CALD⁴>

・ **studies** 「学業、勉強」 studies [plural] = the work something.

Further Activitiesの概要説明、解答例

→ 資格・検定試験への対応のヒントも掲載！




*For instance, ～の部分は、生徒の実生活から具体例を記述させるように指導する。なお、生徒が「英語

Lesson 9 Exchange Students

Listen and Answer

1 Listen to the speech by an exchange student from Thailand and answer questions 1-3.

1 What does the speaker's nickname mean?

(1)  (2)  (3) 

2 Who is visiting Japan now?

3 What did the speaker do at Kinkakuji Temple?

—She _____

Expressions

1 A: You seem busy today.
B: Yeah, I'm so busy that I didn't have time for lunch.
A: You should eat something, or you'll damage your health.

2 A: Kim was kind enough to lend me an umbrella.
B: She always tries to be helpful.
A: Yes, she is really a good person.

3 A: This curry is too hot to eat.
B: I thought you liked spicy food.
A: Well, it depends. This is too hot!

Make your own dialogs by changing the underlined parts. Practice the dialogs you have made and present them to the class.

- a. ②の各項目について、積極的に取り組んでいる。
b. そのほか、人の性格や特徴などを示す語句や、人を紹介する際の表現などを習得しようとしている。

中学での学習状況

- ① <so ~ that ...> の構文は6点中4点の教科書で扱われているが、多くはリーディングの課や補足部分での扱いなので、定着度合いは低いと考えられる。
② <~ enough to do> に関し、enough (十分な、十分に) という語は概ね教科書で取り上げられているが、to-不定詞と連動する構文を扱うのは1社のみである。発音も含め、ていねいに教える必要がある。
③ <too ~ to do> は2点の教科書で扱われている。この構文では too が否定的意味合いをもつことも含め、to-不定詞との関連を確実に理解させたい。

◆Small Talk

This year we have an exchange student from Thailand in Class B. Have you talked to her yet? Her nickname is Babe. She can't speak Japanese very well, but she speaks good English. Try talking to her in Japanese or in English. She wants to improve her Japanese and learn more about Japanese culture. She is very interested in Japanese anime, so maybe you could talk to her about that.

Listen and Answer 解答例

① (2)

Part 2 左ページ解説 ①

本課の目標、観点別評価のポイント、中学での学習状況、small talk など

→ 導入部分からしっかりサポート!

「タイ人[語](の)」などの意味を表す。

【音声スクリプト】

Hi, everyone. My name is Nataya Chimnan, but please call me Ploy. This is a nickname given to me by my parents. It is a Thai word which means "jewel." People in Thailand call each other by their nicknames. My parents are visiting Japan now, and we have visited some cultural sights together. Last week we went to Kinkakuji Temple. My parents found the temple very different from those back in Thailand, but they enjoyed it very much. It was so beautiful that I ended up taking dozens of photos.

- **nickname** タイ人は生まれたときに nickname (chww len チューレン) をつけてもらい、普段はその名で呼ぶことが多い。
- **call each other by their nicknames** 「お互いをニックネームで呼ぶ」 by (〜によって) は「手段」。Everybody *called* each other *by* their surnames. <COBUILD¹⁰>
- **cultural sights** 「文化的名所」 sight は複数形で famous or interesting places that tourists visit <LDOCE⁶> の意味を表す。
- **those back in Thailand** those は the temples を表す。前出の名詞の反復を避ける表現。back は副詞で、「元の場所に戻って、故郷で」の含意。back は in Thailand を修飾し、back in Thailand で those を形容詞的に修飾している。
- **end up ~ing** 「ついには〜することになる」 I *ended up doing* all the work myself. <OALD¹⁰>

Expressions 解説

CD IV-13

1 so ~ that ...

p.304

- (a) <so ~ that ...> は、「非常に〜なので… [結果]、…であるほど〜 [程度]」の意味を表す。英文の情報構造から、that-節は (特に過去の内容の場合) 主に「結果」を示すと考えてよいが、例えば本文の場合に「昼食をとれないほど忙しかった」と、「程度」を表すように解釈してもよい。
- (b) この構文のニュアンスとして、「ほかに選択肢がなく、自動的・必然的にそうせざるをえない」という内容が that 以下に用いられる。ネイティブによると、<so ~ that ...> is usually used when there is no choice or when the choice is to some degree compulsive, not easily controllable, automatic, or necessary. とのことである。
- (c) また、that-節では「ある程度極端な」内容が表され、<so + 望ましくない語 + that + 否定的な内容> の場合が多く、<so + 望ましい語 + that + 肯定的な内容> は「予想に反して、意外にも」の意味合いが強調される (『英語教育』(大修館) 2021年8月号)。
- (d) so の後に副詞が来る例を補足しておく。
He spoke *so* fast *that* we couldn't understand him. (早口で話したので理解できなかった)
She ran *so* quickly *that* I couldn't catch her. (とても速く走ったので追いつけなかった)
- (e) 類似の構文に <such ~ that ...> がある。冠詞の位置に注意。〔第2例は such のあとに冠詞が不要な例〕

She was *such* a good runner *that* I couldn't catch her.

It was *such* nice weather *that* we went hiking.

2 ~ enough to do

p.177

- (a) <~ enough to do> は、「…する [できる] ほど十分に〜 [程度]、〜なので…する [できる] [結果]」の意味を表す。副詞の enough は、形容詞・副詞を後ろから修飾する。なお、kind enough to do は「親切にも…する」の意味となる。
- (b) 主語が不定詞の目的語となる場合、通例は不定詞の目的語は省略するが、不定詞の意味上の主語 <for A> を示す場合は、目的語を置く場合がある。
The radio's small *enough to* put in your pocket. The radio was small *enough for me to* put (it) in my pocket. <Swan(2016: 450.5)>

3 too ~ to do

p.177

Part 2 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説・和訳例

→ 的確な機能表現・語句の解説；自己表現のヒントをご用意!

at lunch.

に注意させる。

(c) to-不定詞の前に意味上の主語を置く場合がある。

This curry is *too* hot *for me to* eat.

英文の和訳例

DVD-ROM

Listen and Answer

タイからの交換留学生のスピーチを聞いて、①〜③の質問に答えなさい。

【音声スクリプト】

皆さん、こんにちは。私の名前はナタヤ・チムナンですが、プロイと呼んでください。これは両親が付けてくれたニックネームです。「宝石」を意味するタイのことばです。タイの人々はお互いをニックネームで呼びます。両親は今、日本を訪れていて、私たちは文化的名所をいっしょに観光しました。先週私たちは金閣寺に行きました。両親はタイのお寺とはずいぶん異なっていると思ったようでしたが、とても楽しんでいました。お寺は非常に美しかったので、私はたくさん写真を撮ってしまいました。

① 話し手のニックネームは何を意味しますか。

② 今、だれが日本を訪れていますか。

—話し手 [ナタヤ・チムナン] の両親。

③ 金閣寺で話し手は何をしましたか。

—彼女は何十枚もの [たくさん] の写真を撮った。

※p.223に続く。

Dialog Meg, an exchange student from the U.S.A., is talking to Ken.
Listen to the dialog and fill in the blanks.
Then play the roles of Meg and Ken in pairs.

M: Have you () to the new *ramen* shop in Midori-machi?
K: Yes, I had lunch there last week. It was really delicious, but the shop was () busy () I had trouble getting a seat.
M: Yes, it seems amazingly (). I've wanted to eat there, but there's usually a long () outside.
I guess I'm just too impatient.
K: Maybe someday you could arrive early () to avoid the lunch crowd.
M: That's a good (). I'll try going at around 11:30 next time.

Retelling Summarize the dialog.
Ken had lunch () in Midori-machi. It was () but the shop (). Ken suggested to Meg that she should ().

Further Activities Introduce one of the following exchange students to your friend.

Student	Nancy	Tuan	Sehi
From	Toronto, Canada	Hanoi, Vietnam	Daegu, Korea
Hobby	swimming, cycling	tennis, cooking	reading
Favorite music	classical	pop	jazz
Japanese foods you like and don't like	① sukiyaki ② natto	③ sushi ④ konnyaku	⑤ tempura ⑥ umeboshi

Let me introduce Pedro. He is from Santos, Brazil. His hobby is watching movies. His favorite kind of music is rock'n'roll. He likes *natto* so much that he eats it every day. He doesn't like *takuan*.

Discussion Your class will accept Marika, an exchange student from Finland. What will you do for her while she is here?
Words & Phrases p.91 (国字・習字)

Part 2 123

or likely. <LDAE⁵> 口語的な表現。

I wasn't there, but *I guess* Mr. Radkin yelled at Jeannie. <LDAE⁵>

6. **just too** 「ちょっと～すぎる」 *just* は *too* によって修飾された語句に先行し、「ちょっと～すぎる」の意味を表す。(『英語基本形容詞・副詞辞典』)

6. **impatient** /ɪmˈpeɪənt/ 「我慢できない、気短な」
patient (忍耐強い) に反意の接頭辞 *im-* がついたもの。for-句や to-不定詞が続くと「～(すること)を待ち望む」の意味になる。

She was clearly *impatient* to leave. (彼女は明らかに帰りがっていた) / *impatient* for change (変革を待ち望む) <OALD¹⁰>

7. **you could** 「～できるよ、～してみたらどうだろう」「示唆」を表す表現。You use *could*, or *couldn't* in questions, when you are making offers and suggestions: It's boring to walk all alone. — *Couldn't* you go for walks with your friends? <COBUILD¹⁰>

8. **avoid** 「～を避ける」 *crowd* (人混み) としばしば共起する。If you want to *avoid* the crowds, get there early. <OCD²>

また、準動詞が後続する場合、不定詞ではなく動名詞になる点にも注意させる。

We *avoid* eating fattening foods. <NHD⁵>

8. **lunch crowd** 「昼食時の人混み、お昼の混雑」

Part 2 右ページ解説 ①

各活動の解答例、文法・語法解説、内容把握の補充問題

➔ 充実した語句解説：
Comprehension で **Dialog** の
内容理解を確認できます！

ある(この場合 *an* and は副詞)。

<Comprehension>

- Has Ken been to the *ramen* shop in Midori-machi? — Yes, he has.
- When did Ken have lunch at the *ramen* shop? — He ate lunch there last week.
- How was the *ramen* at the shop? — It was (really) delicious.
- Did Ken easily get a seat? — No, he didn't.
- Is the *ramen* shop crowded? — Yes, there is usually a long line.
- What time is Meg supposed to go to the *ramen* shop next time? — She is supposed to go there around 11:30.

Retelling 解説

CD IV-15

対話の要約としては、具体例や詳細説明などの比較的小さい部分〔例えば Meg の 2 番目のセリフなど〕を割愛することが肝要である。[本文82語→下例34語]

[要約文例]

DVD-ROM

Ken had lunch ① at the new *ramen* shop in Midori-machi. It was ② really delicious but the shop ③ was very crowded[busy]. Ken suggested to Meg that she should ④ arrive early to avoid the lunch crowd.

Further Activities 解説

CD IV-16

本課の話題に関連した活動である。例にならって下線部を表の情報に基づいて置き換えることによって紹介文が完成するようになっている。

- **Toronto** /tərəntou/ カナダ南東部、オンタリオ湖岸にある都市。オンタリオ州の州都。
- **Hanoi** /həni/ ベトナム北部にある、ベトナムの首都。Vietnam/viətnám/ の発音にも注意。
- **Daegu** /tégu/ 「大邱(テグ)」韓国南部の広域市。慶尚北道の道都。
- **classical** /klæsɪkl/ 「クラシックの」表中では music を省略した形で記載している。なお、通例 × classic music とは言わない点に注意。

[展開事例]

- 設問に取り組ませる。(適宜、語句等を説明する。)
- ◆ Now let's go on to *Further Activities*. Break into pairs and introduce the exchange students in the chart to your partner.

<Model Answers>

(Nancy) Let me introduce Nancy. She is from Toronto, Canada. Her hobbies are swimming and cycling. Her favorite kind of music is classical. She likes sukiyaki, but she doesn't like *natto*.

(Tuan) Let me introduce Tuan. He is from Hanoi, Vietnam. His hobbies are tennis and cooking. His favorite kind of music is pop. He likes sushi, but he doesn't like *konnyaku*.

(Sehi) Let me introduce Sehi. She is from Daegu, Korea. Her hobby is reading. Her favorite kind of music is jazz. She likes tempura, but she doesn't like *umeboshi*.

- 時間があれば、パートナーについて同じような情報を得る活動をしてもらいたい。

- ◆ Now, ask your partner about the same things.
 - Where are you from?

- What is your hobby?
- What is your favorite music?
- What Japanese foods do you like and dislike?

英文の和訳例

DVD-ROM

Expressions

- A: 今日は忙しそうだね。
B: うん、とても忙しくて、昼食をとる時間がなかったよ。
A: 何か食べたほうがいいよ、そうしないと体を壊すよ。
- A: キムが親切にも傘を貸してくれたよ。
B: 彼女はいつも人の役にたつように心がけているよね。
A: うん、ほんとうにいい人だよ。
- A: このカレーは辛すぎて食べられないな。
B: あなたは辛い食べ物が好きだと思ってたわ。
A: でも、程度によるよ。これは辛すぎるよ!

Dialog

アメリカからの交換留学生のメグが、ケンと話しています。
M: 緑町の新しいラーメン屋さんに行ったことがある？
K: うん、先週そこで昼ごはんを食べたよ。とてもおいしかったけど、店がすごく込んでいて席を確保するのが大変だった。

Part 2 右ページ解説 ②

各活動の解答例、語句解説、展開事例、和訳例、補充問題など
➔ 活動の展開に沿った英語指示文・解答例を充実させています！

M: いい考えだね。次は11時半ごろに行ってみる。

Retelling

ケンは緑町の新しいラーメン屋で昼食をとった。とてもおいしかったが、店は大変混雑していた。ケンはメグに、昼時の混雑を避けるために早く行くのがいいだろうと提案した。

Further Activities

次の交換留学生の1人を友だちに紹介しなさい。
例) ペドロを紹介させてください。彼はブラジルのサントス出身です。趣味は映画鑑賞です。好きな音楽の種類はロックンロールです。彼は納豆がとても好きで、毎日食べます。たくあんは好きではありません。

Discussion あなたのクラスは、フィンランドからの交換留学生のマリカを受け入れます。彼女がここに居る間、あなたは彼女に何をしてあげますか。

※補充問題はDVD-ROMに収録。

14 Hobbies



CD II-19

CDトラック番号、英文の和訳、解答例を朱文字で記載しています

Can-do!

- ☐ 表現 「～すること」などを英語で表現できる。
☐ 話題 趣味やその他の日常の活動について、英語で表現できる。

Activity

A () 内の語を適切な形にして、完成した文を言ってみよう。

[(1) (2) → B.E. 21, (3) (4) (5) (6) → B.E. 22]

- (1) Thank you for (help) me with my homework.
宿題を手伝ってくれてありがとう。 (1) helping
- (2) They insisted on (I, run) the relay race.
彼らは私にリレーに出るべきだと強く言った。 (2) me[my] running
- (3) Ally refused (answer) the question and kept silent.
アリーはその質問に答えることを拒否し、ずっと黙っていた。 (3) to answer
- (4) Are you free now? — No, I haven't finished (study) for the exam.
今ひまですか。 いや、試験勉強が終わっていないんだ。 (4) studying
- (5) The rain is getting heavier. We should give up (go) to the beach.
雨が激しくなっています。 海岸へ行くのはあきらめたほうがいいでしょう。 (5) going
- (6) Don't forget (bring) your textbook next week.
来週教科書をもって来るのを忘れないようにしてください。 (6) to bring

CD II-20

B イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。

[(1) (2) (3) → B.E. 21, (4) → B.E. 22]

- (1) [hobby, draw]
 (2) [mind, turn]
 (3) [join]
 (4) [avoid, through]

- (1) My favorite hobby is drawing (pictures) on my tablet PC.
私の大好きな趣味は、タブレットPCで[グラフィックタブレットPCに]絵を描くことです。
- (2) Would you mind (me[my]) turning down[off] the radio? — Oh, I'm sorry.
ラジオの音を小さくして[ラジオを消して]いただけませんか。 (ラジオに聴き流している人の発言を考慮して、me [my] を入れてもよい。) ああ、ごめんなさい。
- (3) Excuse me for not joining the party today.
今日はパーティーに参加しなくてごめんなさい。
- (4) We avoided driving[going] through the narrow street.
私たちは狭い道を運転する[通る]のを避けた。

CD II-21

Express Yourself! *①次の話題について表現し、②対話してみよう。

▶ (a) Tell about your general plan and your specific decision.

あなたの大きな計画と、具体的な決定事項について話しなさい。

(b) Ask people if you can do something, using "mind."

あなたが何かしてよいかどうか、mind を使って人に尋ねなさい。

- ① Ex. (a) We are planning to take a trip. We've decided to visit Turkey.
私たちは旅行に行く計画を立てています。 トルコを訪問することに決めました。
- (b) Would you mind me turning on the TV? I'd like to watch soccer.
テレビをつけてもいいですか。 サッカーを見たいのです。
- (a) Ex. を参照。
 (b) _____

② Ex. A: We are planning to take a trip. We've decided to visit Turkey.

私たちは旅行に行く計画を立てています。 トルコを訪問することに決めました。

B: Oh, that's wonderful. Where in Turkey will you go?

ああ、それは素晴らしいですね。トルコのどこに行きますか。

* 対話を続け、発表してみよう。

⇒ Let's Use It! 7 (p.56)

■ 本文を聞く/音読練習/補充問題

B.E. 21 「～すること」(～ing)

p.186

CD II-15

- ① My father's hobby is taking pictures. ▶ 父の趣味は写真を撮ることだ。
 ② I don't like him taking my picture. ▶ 彼が私の写真を撮るのは好きではない。

Notes

「～すること」は ～ing (動名詞) でも表せます。～ing は前置詞の目的語にもなります。
 「…が～すること」という場合は、～ing の前に名詞・代名詞[目的格または所有格] を置きます。

- ▶ Would you mind opening the window? (～していただけますか)
窓を開けていただけませんか。
 ▶ Would you mind me opening the window? (私が～してもかまいませんか)
私が窓を開けてもかまいませんか。
 ▶ 「～しないこと」: I'm sorry for not coming in time.
間に合うように来られなくてすみません。

CD II-16

Let's Check It! 21 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) My favorite pastime is (walking) (with) my dog. [イヌと散歩をすること]
私の大好きな気晴らしは、イヌと散歩をすることです。
- (2) I don't like (him) (telling[making]) boring jokes. [彼がつまらない冗談を言うこと]
私は彼がつまらない冗談を言うことが好きではありません。
- (3) Excuse me for (not) (answering) you back. [電話を折り返さなかったこと]
折り返し電話をせずにすみません。

B.E. 22 「～すること」(to ～と～ing)

p.193

CD II-17

- ③ Meg decided to jog for her health. ▶ メグは健康のためジョギングすることにした。
 ④ She enjoys jogging every morning. ▶ 彼女は毎朝ジョギングを楽しんでいる。

Notes

動詞によって、to ～ が続く場合と ～ing が続く場合があります。

- ③ decide, hope, wish, plan, refuse(拒否する) など → to ～
 ④ enjoy, mind, finish, give up, stop, avoid(避ける) など → ～ing

- ▶ I remember seeing Meg last month. (～したことを覚えている)
私は先月メグに会ったことを覚えている。
 ▶ Remember to see Meg tomorrow. (～することを覚えている、忘れずに～する)
明日、メグに会うことを覚えていなさい(忘れずにメグに会いなさい)。

CD II-18

Let's Check It! 22 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) I (planned) (to) (visit) the park again. [訪れることを計画した]
私はその公園を再び訪れることを計画した。
- (2) We (enjoyed) (playing) the game. It was great fun. [する楽しかった]
私たちはそのゲームをすることを楽しんだ。 とてもおもしろかった。
- (3) Remember (to) (see[meet]) Ms. Brown next Monday. [忘れず会うように]
来週の月曜日に、忘れずにブラウンさんに会うようにしてください。
- (4) You should (stop) (using) your smartphone in bed at night. [使うのをやめる]
夜ベッドの中でスマートフォンを使うのをやめるべきだ。

5 Homework

F 義務・必要を述べる

Link



本文を聞く/音読練習/補充問題/ディスカッションのヒント/英作文

Listen and Answer CD III-43

CD III-44,45

Listen to the dialog and answer questions 1 - 3. 対話を聞いて、①-③の質問に答えなさい。

1 Why did Mark come home early? なぜマークは家に早く帰ったのですか。

— Because he had to do a lot of homework
たくさん宿題をしなければならなかったから。

2 How is Mark going to help his mother? マークはどのようにお母さんを手伝うでしょうか。



3 What is Mark's mother making? マークのお母さんは何を作っているのでしょうか。

— She is making beef stew
彼女はビーフシチューを作っている。

CD III-46

Expressions

Work in pairs. Practice the following dialogs.

ペアになって、次の対話を練習しなさい。

1 A: You need to come back by five.

B: Why? p.116

A: Aunt Jane is coming for dinner.

B: All right. I can do that.

2 A: Do I have to water the plants now?

B: No, you don't have to. p.106

It rained last night.

A: Oh, right.

3 A: I'm supposed to clean my room
every weekend. p.179

B: Is that a family rule?

A: Yes, we have a lot of rules.

実際に使う状況を思い浮かべながら、
「義務・必要を述べる」表現を練習しよう。

① ~する必要があるよ

② ~しないとイケないかな?

／~する必要はないよ

③ ~することになっているんだ

① A: 5時までには帰ってくる必要があるよ。
B: なぜですか?A: ジェーンおばさんが夕食に来るからだよ。
B: わかりました。そうです。

② A: 今、水やりをしないとイケないかな。

B: いや、その必要はないよ。昨晚雨が降ったから。
A: ああ、そうだったね。③ A: ぼくは毎週末に部屋を掃除することになって
いるんだ。

B: それは家族のルールなの?

A: うん、うちにはルールが多いんだ。

⇒ Consolidation 3 (p.112)

Make your own dialogs by changing the underlined parts.

下線部を変更して、自分たち自身の対話を作りなさい。

Practice the dialogs you have made and present them to the class.

自分たちで作った対話を、クラスみんなに発表しなさい。

Listen and Answer

(Script)

Mother: Hi, Mark. I'm glad you came home early today.

Mark: Why? Is there something you'd like me to do?

Mother: I want you to help me with the cooking.

Mark: Well, actually, I came home early because I have to
do a lot of homework.

Mother: I just want you to peel some vegetables.

Mark: Oh, I can do that. What are we having tonight?

Mother: I'm making beef stew.

Mark: Fantastic! I love beef stew.

(和訳)

母: お帰りなさい、マーク。今日は早く帰ってきてくれてうれしいわ。

マーク: なんで? ぼくにしてほしいことがあるの?

母: 料理を手伝ってほしいの。

マーク: うーん、実は、たくさん宿題をしなくちゃいけない
から、早く家に帰ってきたんだけど。

母: 野菜の皮をむいてほしいだけよ。

マーク: ああ、それならできるよ。今日の晩ごはんは何?

母: ビーフシチューを作るわ。

マーク: やったあ。ビーフシチューは大好きだ。

A Sample Teaching Procedure for an ALT

1 Roll call

◆ Good morning[afternoon], everyone. Is anybody
absent today? ... OK, let's begin.2 Collecting the assignment for the previous
lesson (cf. 9)◆ Hand in the assignment for the previous lesson.
Pass the worksheets forward. ... Thank you.Note: Instead, you can give the students a review quiz
here.◆ OK, let's review Lesson 4. I'll give you a review
quiz. Please take one sheet and pass the rest on.
You'll have three minutes to answer the questions.
Now let's start. ... Time's up. Pass your papers to
the front.

3 Listen and Answer

1. Give students a small talk.

◆ When I was young, I went to the USA to study
English. I lived in an apartment by myself. I could
not afford to eat out often, so I usually cooked my
own meals. I had a lot of homework such as writing
reports, so I had to study for many hours every day,
but I still took time out to cook my dinner. It was
a good break after hours of study, and I enjoyed it.
You might say that cooking was my hobby.

Note: The talk above can be omitted.

2. Have some students answer the questions in *Listen
and Answer*.◆ Now let's begin Lesson 5. Open your textbooks to
p. 86. Listen to the dialog and answer each question.◆ Now, let's check your answers. What's the answer to
question ①?◆ [Name], could you please tell us your answer? ...
Good! The answer is "a lot of homework." Note that
"homework" is an uncountable noun. You cannot say
"many homeworks." He came home early because he
had to do a lot of homework.◆ Question ②. Before checking the answer, let's see
which process of cooking each picture shows. [Name],
could you describe in English what is shown in
picture (1)? Please answer in English.Ans. (1) peeling a potato (2) cutting a potato
(3) mashing a potatoNote: If a student seems unable to answer in English,
have them answer in Japanese.

◆ Why don't you answer in Japanese, then?

◆ What's the answer to question ②? [Name], your
answer, please. Great. The answer is (1). Mark's
mother said she wanted him to peel some vegetables.◆ Next, what's the answer to question ③? [Name],
your answer, please. Very good. When he heard his
mother was making beef stew, he said, "Fantastic! I
love beef stew," so the answer is "beef stew."3. Ask students about the vocabulary from *Listen and
Answer*.◆ Now, let's make sure of the vocabulary in the dialog
of *Listen and Answer*. First, "peel." Repeat after me
"Peel some potatoes." What else do we peel? "Peel
an apple," "peel an orange," "peel a banana." Next
"beef stew." Be careful about the pronunciation of
"stew." Repeat. "Stew." "Stew" is an uncountable
noun. Do not say "a beef stew," right?Note: The teacher can decide which words they will
talk about.

4 Expressions

1. Have students practice the dialogs.

◆ Now, let's practice the dialogs in *Expressions*.
Repeat after me.

2. Have students work in pairs.

◆ First get into pairs and then play the roles of A and
B.

3. Have students present the dialogs.

◆ Now, let's watch dialog ① as a presentation. Any
volunteers? / No? OK, how about [Name] and
[Name], please?※ Have students present dialogs ② and ③ in the same
way.Note: If possible, have the students repeat the dialogs
from memory.◆ Next, let's make your own dialogs by changing the
underlined parts. Practice the dialogs you have
made.◆ Now, let's watch an original dialog as a presentation.
Any volunteers? / How about [Name] and [Name],
please?

BIG DIPPER I TEACHER’S MANUAL付属 教授用データ一覧

※教授用データの一部は、弊社HPからダウンロードによってご利用する場合があります。

BIG DIPPER教授用データ・形式・概要 一覧		
収録データ	形式	概要
教科書紙面PDF	PDF	教科書の紙面PDFデータ
Teacher’s Book紙面PDF	PDF	Teacher’s Bookの紙面PDFデータ
プレゼンテーション用スライド	Power Point	本課の例文などの提示のほか、音声も流せる授業用スライド Googleスライド形式もダウンロードでご利用！
本文データ	Word	教科書紙面のWordデータ
解答（例）	Word	教科書の各演習問題や活動の解答（例）
音声スクリプト	Word	教科書掲載のリスニング問題の音声スクリプト
本文和訳例	Word	教科書掲載の例文の和訳例
提出用シート	Word	教科書の各演習問題や活動の解答を書き込めるシート
Part 1ハンドアウト	Word	Part 1の文法事項をまとめた補助プリント
問題演習シート	Word	自由度の高い演習問題を空所補充形式にしたシート
ヒント付き提出シート	Word	教科書の各表現活動について適宜ヒントを掲載した提出用シート
ディクテーションシート	Word	教科書のリスニング・スクリプトを利用したディクテーション問題のシート
定期考査用リスニング問題	Word	定期考査用に利用できるリスニング問題のスクリプト
評価問題	Word	定期考査用に利用できる演習問題
補充問題	Word	各課で学習した内容を確認できる問題
暗唱例文集	Word	教科書に出てくる表現の定着を図る暗唱例文集
単語学習シート	Excel	本課掲載語句をまとめたリスト
Words & Phrases	Excel	教科書Words & Phrasesのデータ
パフォーマンステスト NEW!	Word	各レッスンにおいて3領域の評価ができるパフォーマンステスト例
ワークブック（準拠教材）	Word	準拠教材『ワークブック』のデータ
レッスンブック（準拠教材）	Word	準拠教材『レッスンブック』のデータ
観点別評価など	Word Excel	観点別評価基準例、単元別領域別評価規準、教科書の特色、年間指導計画案を収録
Can-Doリスト	Excel	各学年における4技能5領域別学習到達目標
指導手順案	Word	教科書本課の指導手順案
ループリック評価表	Excel	教科書掲載のループリック評価表、単元別観点別ループリック例
参考書・文法テキスト対応表	Excel	当社発行の文法参考書との文法事項についての対応表
数研Test Master		文法テスト作成システム
Googleフォーム／Microsoft Forms	Excel	オンラインで管理可能なフォーム形式の小テスト ※弊社HPからのダウンロードによってご利用方法などをご案内いたします。

● Googleスライド／Googleフォーム・Microsoft Forms（小テスト）の画面の一例

Lesson 9

B.E. 12「～だったにちがいない」
「～すべきだったのに」など

③ Tom may have arrived there early.

トムはそこに早く着いたのかもしれない。

④ He must have enjoyed the exhibition.

彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。

⑤ We should have visited it last week.

私たちは先週そこを訪れるべきだった。

Lesson 9

[POINT]

過去のことについて、「～だった[した]にちがいない／かもしれない」と推量する場合は
〈must[may] have＋過去分詞〉で表します。
また、〈should＋have＋過去分詞〉は、
「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。

▲Googleスライド

彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
He () the exhibition.

☐ must have enjoyed

☐ have to enjoy

☐ had to enjoy

☐ must be enjoying

サヤはかぜをひいていたのかもしれない。
Saya () a cold.

☐ may have

☐ may have had

☐ must catch

☐ must have caught

▲Googleフォーム

8. 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
He () the exhibition. (1点)

☐ must have enjoyed

☐ have to enjoy

☐ had to enjoy

☐ must be enjoying

9. サヤはかぜをひいていたのかもしれない。
Saya () a cold. (1点)

☐ may have

☐ may have had

☐ must catch

☐ must have caught

▲Microsoft Forms

付属DVD-ROM：教科書を有効に活用するための豊富なデータを収録

QRコードからアクセスできる「解説動画」とともに、レッスンの内容理解を深めます。

▶解説動画 p.7

付属DVD-ROM データ紙面の一例

① 教科書紙面PDFデータ

Lesson 9 Visiting a Museum

B.E.11「～するとよい」「～しなければならない」

① You should go to this exhibition.

この展覧会に行くといいよ。

② You must see these pictures.

これらの絵は見ておかないといけないよ。

Notes

「～するとよい、～すべきである」は should を、「～しなければならない」は must を用いて表します。must のほうが、should よりも意味が強くなります。
▶「～しなければならない」は (have to) を用いて表すこともできます。
I had to wake up early yesterday. (過去を表す場合は×must)
▶ must not[mustn't] は「～してはいけない」(禁止)。(do not[don't] have to) は「～しなくてもよい」(不必要)の意味になります。
Let's check it! 各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら書いてみよう。
(1) The movie is good. You () () it. (見たい方がいいよ)
(2) The movie is great. You () () it. (見ないといけないよ)
(3) You () () () the staff room today. (入ってはいけない)

B.E.12「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など

③ Tom may have arrived there early.

トムはそこに早く着いたのかもしれない。

④ He must have enjoyed the exhibition.

彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。

⑤ We should have visited it last week.

私たちは先週そこを訪れるべきだった。

Notes

過去のことについて、「～だった[した]にちがいない／かもしれない」と推量する場合は (must[may]＋have＋過去分詞) で表します。また、(should＋have＋過去分詞) は、「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。
▶ Sam was with us last night, so you can't have seen him at the station. (～したはずがない)
Let's check it! 各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら書いてみよう。
(1) Saya () () () a cold. (かぜをひいていたのかもしれない)
(2) Eri didn't answer the phone. She () () () sleeping. (寝ていたにちがいない)
(3) I () () () more money by now. (ためておくべきだった)

③ Teacher’s Book紙面PDFデータ

Lesson 9 Visiting a Museum

B.E.11「～するとよい」「～しなければならない」

① You should go to this exhibition.

この展覧会に行くといいよ。

② You must see these pictures.

これらの絵は見ておかないといけないよ。

Notes

「～するとよい、～すべきである」は should を、「～しなければならない」は must を用いて表します。must のほうが、should よりも意味が強くなります。
▶「～しなければならない」は (have to) を用いて表すこともできます。
I had to wake up early yesterday. (過去を表す場合は×must)
▶ must not[mustn't] は「～してはいけない」(禁止)。(do not[don't] have to) は「～しなくてもよい」(不必要)の意味になります。
Let's check it! 各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら書いてみよう。
(1) The movie is good. You () () (see/watch) it. (見たい方がいいよ)
(2) The movie is great. You () () (see/watch) it. (見ないといけないよ)
(3) You () () () () the staff room today. (入ってはいけない)
(mustn't go/get/come in/to)

B.E.12「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など

③ Tom may have arrived there early.

トムはそこに早く着いたのかもしれない。

④ He must have enjoyed the exhibition.

彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。

⑤ We should have visited it last week.

私たちは先週そこを訪れるべきだった。

Notes

過去のことについて、「～だった[した]にちがいない／かもしれない」と推量する場合は (must[may]＋have＋過去分詞) で表します。また、(should＋have＋過去分詞) は、「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。
▶ Sam was with us last night, so you can't have seen him at the station. (～したはずがない)
Let's check it! 各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら書いてみよう。
(1) Saya () () () () a cold. (かぜをひいていたのかもしれない)
(2) Eri didn't answer the phone. She () () () () sleeping. (寝ていたにちがいない)
(3) I () () () () () more money by now. (ためておくべきだった)
(should have saved)

② プレゼンテーション用スライド

Lesson 9

B.E. 11「～するとよい」「～しなければならない」

① You should go to this exhibition.

この展覧会に行くといいよ。

② You must see these pictures.

これらの絵は見ておかないといけないよ。

Lesson 9

[POINT]

「～するとよい、～すべきである」は should を、「～しなければならない」は must を用いて表します。must のほうが、should よりも意味が強くなります。

①教科書紙面PDFデータ

②プレゼンテーション用スライド

対面・リモートでの授業にお役だていただけます。
プレゼンテーション用スライドでは音声も利用できます。

※PowerPointとGoogleスライド形式の両方をご用意！

③Teacher’s Book紙面PDFデータ

教授資料に付属するTeacher’s BookのPDFデータです（英文の和訳・解答例・スクリプト・Part 2 指導手順案を掲載）。ご授業の準備にお役だていただけます。

解説動画の詳細はこちら！

教授資料・付属データ

48 教授資料・付属データ

教授資料・付属データ 49



④ 本文 2 ページめ

Let's Check It! 12

*各文を完成させて、裏面に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

(1) Saya () () () a cold. [かぜをひいていたのかもしれない]

(2) Eri didn't answer the phone. She () () () sleeping. [眠っていたにちがいない]

(3) I () () () more money by now. [ためておくべきだった]





(p. 33)

Activity

[A] () 内の語のうちより適切なほうを選んで、完成した文を言ってみよう。
(1)(2)(3)(4) → B.E. 11, (5)(6)(7) → B.E. 12

(1) We (should / shouldn't) read that book. Many people recommend it.
(2) When you play sports, you (must / mustn't) follow the rules.
(3) You (mustn't / don't have to) tell him everything. It's your choice.
(4) I (must / had to) go to the dentist after school yesterday.
(5) I can't find my pencil case. I (must / should) have left it at home.
(6) Kana (may / can't) have said such a terrible thing. She's a very nice girl.
(7) I overslept. I (can't / should) have set the alarm.

[B] 写真・イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。
(1)(2) → B.E. 11, (3)(4) → B.E. 12

(1)  [hurry] (2)  [touch] (3)  [miss] (4)  [practice]

(1) We _____ The meeting will begin soon.
(2) You _____ the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. _____ the bus.
(4) I _____ more before the concert.

⑤ 解答・解説

Lesson 9 Visiting a Museum [解答・解説] (pp. 32-33)

■ Let's Check It! 解答

[11] (1) should see[watch] (2) must see[watch]
(3) must not enter / mustn't go[get, come] in(to)

[12] (1) may have had (2) must have been (3) should have saved

● Let's Check It! 解説

[11]

(1) 例文①を参照。「勤めるとき」は、「見るほうがいいよ」という意味で、「助言」を表すshouldを用いる。
(2) 例文②を参照。「強く勤めるとき」は「見ないといけないよ」という意味でmustを用いる。
(3) 「禁止」を表すmustn'tを用いる。それよりやや意味の弱い「否定の助言・義務」を表現すると考えて、shouldn'tとしてもよい。また、enter the staffroom（職員室に入る）のロケーションに注意。

[12]

(1) 「～かもしれない」の may に have+過去分詞を続ける形。なお、Saya may have caught a cold となると、日本語は「かぜをひいたのかもしれない」となる。
(2) 「～にちがいない」の must に have+過去分詞を続ける形。進行形の場合は、(have been doing) のように be が過去分詞となる。
(3) 「～べきだ」の should に have+過去分詞を続ける形。「[お金]をためる」は save

■ Activity 解答

[A] (1) should (2) must (3) don't have to (4) had to
(5) must (6) can't (7) should

[B] (1) must[have to, should] hurry (2) mustn't[shouldn't] touch
(3) may[must] have missed (4) should have practiced

● Activity 解説

[A]

(1) 第2文の「たくさんの人が勤めている」という状況から「読むべきだ、読んだほうがいい」という意味を表現する。recommend「～を勧める、推薦する」
(2) 第1文の「スポーツをするときは」に合致させる。follow「～に従う」

⑥ 提出用シート

Lesson 9 Visiting a Museum [提出シート] (pp. 32-33)

Let's Check It! 11

(1) The movie is good. You () () it.
(2) The movie is great. You () () it.
(3) You () () () the staff room today.

Let's Check It! 12

(1) Saya () () () a cold.
(2) Eri didn't answer the phone. She () () () sleeping.
(3) I () () () more money by now.

Activity

[A] (1) We (should / shouldn't) read that book. Many people recommend it.
(2) When you play sports, you (must / mustn't) follow the rules.
(3) You (mustn't / don't have to) tell him everything. It's your choice.
(4) I (must / had to) go to the dentist after school yesterday.
(5) I can't find my pencil case. I (must / should) have left it at home.
(6) Kana (may / can't) have said such a terrible thing. She's a very nice girl.
(7) I overslept. I (can't / should) have set the alarm.

[B] (1) We _____ The meeting will begin soon.
(2) You _____ the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. _____ the bus.
(4) I _____ more before the concert.

④ 本文

テストやプリント類の作成用データです。本課に加え、Express It Logically などのデータも収録しています。イラスト等を用いた問題には、イラスト等のデータも掲載しています。

⑤ 解答・解説・スクリプト・和訳

教科書の問題の解答と各小問の解説を載せています。また、スクリプトと和訳のデータも、それぞれファイルを分けて用意しています。

⑥ 提出用シート

問題演習の解答を記入して提出するためのシートです。ノート作りにも役立ちます。また、解答例付きのシートもありますので、自学自習での答え合わせにも対応できます。

⑦ ハンドアウト

Lesson 9 Visiting a Museum (pp. 32-33)

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならない」 助動詞 should / must

① 助言・義務を表す should: 「～するとよい、～すべきである」
この展覧会に行くといいよ。
→ You _____ to this exhibition.

② 必要・義務を表す must: 「～しなければならない」
これらの絵は見ておかないといけないよ。
→ You _____ these pictures.

◆ must のほうが should よりも意味が強くなります。

◆ 「～しなければならない」は (have to) を用いて表すこともできます。
I **had to** wake up early *yesterday*. [過去を表す場合は × must]
(私は昨日早く起きなければならなかった。)

◆ must not[mustn't] は「～してはいけない」[禁止]。〈do not[don't] have to〉は「～しなくてもよい」[不必要]の意味になります。

B.E. 12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など 助動詞 have+過去分詞

③ 過去のことについての推量を表す <may+have+過去分詞>:
「～だった[した]かもしれない」
トムはそこに早く着いたのかもしれない。
→ Tom _____ there early.

④ 過去のことについての推量を表す <must+have+過去分詞>:
「～だった[した]にちがいない」
彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
→ He _____ the exhibition.

⑤ 過去のことについての後悔・非難を表す <should+have+過去分詞>:
「～すべきだったのに」
私たちは先週そこを訪れるべきだった。
→ We _____ it last week.

⑦ ハンドアウト

Part 1 の文法解説をまとめた補助プリントです。文法事項の input を促します。また、output の時間を確保する場合にも活用できます。

⑧ 問題演習シート

イラスト表現問題などの問題演習を空所補充形式にして、解答しやすくしたシートです。文法事項の定着用の問題演習としても活用できます。

⑨ 表現活動ヒント付き提出シート

Express Yourself! などの表現活動につき、無理なく取り組めるように、語句のヒントをつけるなどした提出用シートを用意しました。

ほか、⑩ディクテーション用シート ⑪暗唱例文集 ⑫単語熟語学習シート もご用意しています。





⑧ 問題演習シート

Lesson 9 Visiting a Museum [問題演習シート]

(p. 33) Activity [B]

イラストの内容に合うように、[] の語を使って () 内に適切な1語を入れなさい。 (1) ② → B.E. 11. ③ ④ → B.E. 12

* ① ② should, must, ③ ④ (may[must, should]+have+過去分詞) を使ってみよう。

1)  [hurry] 2)  [touch] 3)  [miss] 4)  [practice]

1) We () () . The meeting will begin soon.
2) You () () the museum exhibits.
3) Bob hasn't arrived yet. He () () () the bus.
4) I () () () more before the concert.

Class _____ No. _____ Name _____

⑨ 表現活動ヒント付き提出シート

Lesson 9 Visiting a Museum [Express yourself! 活用シート] (pp. 32-33)

* ① 次の話題について表現し、②対話してみよう。

▶ Tell what happened and give your conclusion.

① Ex.) John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy.
I had a very bad score on the exam. I *should have studied* harder.

② Ex.) A: John said he wanted to read the magazine, so he may have bought a copy.
B: I think so, too. He is very interested in Japanese pop.

_____ *対話を続け、発表してみよう。

[Hint] 過去に関する推量 (must[may]+have+過去分詞) や後悔 (should+have+過去分詞) の表現を用いて、「何が起きたか」を話し、結論を言ってみよう。

(「過去に関する推量」の用例)
家に帰ったかもしれない may have gone home
夜の間に雨が降ったにちがいない must have rained during the night

(「過去に関する後悔」の用例)
もっと早く寝ておくべきだった
should have gone to bed earlier

⇒ その他 Words & Phrases p.92 「1日の行動」「学校生活」を参照。

Class _____ No. _____ Name _____

⑬ 基本問題

Revised BIG DIPPER
English Logic and Expression I
Part 1 Lesson 9
Visiting a Museum
(教科書 pp.32-33)

基本問題

学年	期	番号	/ 10
名前			

① 日本語に合うように、() 内に適切な1語を入れなさい。【知】

(1) この展覧会に行くといいよ。
You () go to this exhibition.

(2) これらの絵は見ておかないといけないよ。
You () see these pictures.

(3) 私たちは昨日早起しなければならなかった。
I () () wake up early yesterday.

(4) この映画は素晴らしい。見ないといけないよ。
The movie is great. You () see it.

(5) 今日は職員室に入ってはいけません。
You () () () the staff room today.

② 日本語に合うように、() 内に適切な1語を入れなさい。【知】

(1) トムはそこに早く着いたのかもしれない。
Tom () () () there early.

(2) 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
He () () () the exhibition.

(3) 私たちは先週そこを訪れるべきだった。
We () () () it last week.

(4) サムは昨晚私たちといっしょにいたので、あなたが彼を見て眠けけたはずはありませ
ん。
Sam was with us last night, so you () () () him at the station.

(5) サヤはかぜをひいていたのかもしれない。
Saya () () () a cold.

⑭ 応用問題

Revised BIG DIPPER
English Logic and Expression I
Part 1 Lesson 9
Visiting a Museum
(教科書 pp.32-33)

応用問題

学年	期	番号	/ 10
名前			

① Choose the suitable one. 【知】

(1) We've been working all day, so we (should / shouldn't) have a break.

(2) We (must / mustn't) eat more vegetables. They are good for our health.

(3) You (mustn't / don't have to) bring your umbrella. The forecast says it will be sunny today.

(4) Jun (may / can't) have attended the soccer game yesterday. He had an examination.

(5) The drama was exciting. You (can't / should) have seen it.

② Choose one of the following words and complete the sentences. Use "may," "must," or "should." [take / miss / study] 【知】

(1) We () () pictures of the exhibits in this museum.

(2) Ann has not come to school yet. She () () () the train.

(3) I () () () harder before the exam. I got a bad score.

③ Express the following in English. 【思】

(1) マイクは昨日たくさんの宿題を終わらせなければならなかった。

(2) 目覚まし時計をセットする (set the alarm clock) のがよいでしょう。

⑰ 観点別評価規準例・集計表：3観点に基づく評価を記入，平均値を自動集計します。

Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I 観点別評価規準例

■PART 1 評価の観点 ※「言語活動の領域」に関しては、各課と「話す・やり取り・読む・書く」を中心に、「聞く・読む」に関連づけて扱う

L	学習内容	配当時間	学習のねらい	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
1	はじめに① 「だれが」「～する」をはっきりと	1	「表現」日本語で省略される主語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ② 天候・時間・距離・明暗などを表す場合 ③ 英語でどのような表現を用いるのかを理解し、コミュニケーションを図る技能を身につけている。	a. ① 日本語で主語が省略される場合 ② 日本語で「～は」「～が」と表現される語句が、英語では主語に相当しない場合 ③ 天候・時間・距離・明暗などを表す場合 ④ 英語でどのような表現を用いるのかを理解し、コミュニケーションを図る技能を身につけている。	a. ① 身近な話題に関して、実際の状況を自らがある。判断して、主語＋動詞＋…の構造、天候などを表す、を用いて正しい英文で表現する。 b. 日本語と英語の基本的な語彙の違い、主語の置かれたの違いなどについて正しく理解しようとしている。	
2	はじめに② 動詞をうまく使う	1	「表現」伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて英語で表現できる。	a. 日常例に用いられる日本語の言い回しについて、英語でどのような表現(動詞)を用いるのかを理解している。 b. ポイントとなる動詞の用法のほかに、look(見える), coffee+has(不可算名詞), passing, give)+O+O などの表現を習得している。	a. 日本語を語彙的知識に英語に置き換えるのではなく、表現したい内容に合致した適切な意味をもつ動詞を用いて、正しい英文で表現する。 b. 基本的な動詞の意味を理解し、適切に活用する。	
3	はじめに③ 名詞の数などに気を	1	「表現」名詞が、数えられるか特定のものであるかなどを意識して英語で表現できる。	a. 名詞の性質や冠詞の用法を理解したうえで文を作り、実際のコミュニケーションで使う技能を身につけている。 b. ポイントとなる名詞・冠詞の用法のほかに、be	a. 日本語を語彙的知識に英語に置き換えるのではなく、表現したい内容に合致した適切な意味をもつ動詞を用いて、正しい英文で表現する。 b. 基本的な動詞の意味を理解し、適切に活用する。	
4	My F					

PART 1 L1～21 観点別評価規準例の項目に対する評価の目安

A: 目標が十分達成できている / B: 目標がある程度達成できている / C: 目標が達成できていない

観点	知識・技能					思考・判断・表現					主体的に学習に取り組む態度					集計					
	L1～3	L4～7	L8～11	L12～15	L16～19	L20～21	L1～3	L4～7	L8～11	L12～15	L16～19	L20～21	L1～3	L4～7	L8～11	L12～15	L16～19	L20～21	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1生徒 01	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
2生徒 02	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A	A	A	A	B	A	A	A
3生徒 03	A	A	A	A	A	C	A	A	A	A	A	C	A	A	A	A	A	C	A	A	A
4生徒 04	A	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	B	B	A	A	A	A	B	B	A	A
5生徒 05	A	A	A	A	A	B	C	A	A	A	A	B	C	A	A	A	A	B	C	B	B
6生徒 06	A	A	A	A	C	C	C	A	A	A	A	C	C	A	A	A	A	C	C	B	B
7生徒 07	A	A	A	A	B	B	C	A	A	A	A	B	B	B	A	A	A	B	B	B	B
8生徒 08	A	A	A	A	B	B	C	A	A	A	A	B	B	C	A	A	A	B	B	C	B
9生徒 09	A	A	A	A	B	C	C	A	A	A	A	B	C	C	A	A	A	B	C	C	B
10生徒 10	A	A	A	A	C	C	C	A	A	A	A	C	C	C	A	A	A	C	C	C	B
11生徒 11	A	A	A	B	B	B	B	A	A	B	B	B	B	B	A	A	A	B	B	B	B

シラバス作成用
資料はこちら！

⑱ 準拠ワーク類の本文・解答 / ⑲ 関連教材との対応表

ワークブック（復習用ワーク）・レッスンブック（文法テキスト）の本文・解答データをご用意しました。
教科書・準拠ワークの問題を用いて「数研テストマスター」でのテスト作成も可能です。
また、関連教材（参考書シリーズ）との学習ポイントの対応表も収録しています。

⑯ パフォーマンステスト NEW!

Lesson 9 Visiting a Museum [パフォーマンステスト] (pp. 32-33)

① 話すこと〔やり取り〕

A 単元目標
日常的な話題（美術館・芸術作品など）について、情報や考えなどを語って伝え合うことができる。

B テストについて
1. テストは面接官〔教師〕との対話形式とする。生徒は1人ずつテストを受ける。
2. 面接官の質問に対して、生徒は回答する。
3. 長い沈黙がある場合は同じ質問を行う。答えられない場合は、次の質問に移る。
4. 「D. 採点の基準」に則って評価を行う。
C. テスト問題 ※展開例はDを参照。

今から、Lesson 9, Visiting a Museum に関連する質問をいくつか行きます。質問に対する自分の意見・考えや、それを補足する情報・理由などをはっきりと述べてください。それでは始めます。(◆Here are some questions related to Lesson 9, Visiting a Museum. Please clearly state your opinions, thoughts, and any supporting information or reasons. Let's begin.)

Q1. Have you ever visited a museum?
Q2. What is your favorite artwork—like a painting or sculpture?

D. 採点の基準

	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
a	相手が表現が適切に使用されている。聞き手におかしくやいやい音声等で話して伝えている。	相手の質問に適切に応じたい。関連する情報や自分の意見などを詳しく話して伝え合っている。	相手の質問に適切に応じたい。関連する情報や自分の意見などを話して伝え合っている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の音聲や表現を使っている。	相手の質問に応じながら、関連する情報や自分の意見などを話して伝え合っている。	相手の質問に応じて、おおむね関係のない程度で、関連する情報や自分の意見などを話して伝え合っている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

E. 展開例
<事例1>
T: Have you ever visited a museum?
S: Yes, I often visit museums. My favorite is Aoba Museum.
T: Really? It's my favorite too!

Part 1・2 の本課について、次の問題データを収録しています。テスト作成の素材としても活用可能です。

⑬ 評価問題（基本問題）

本文の用例を使った反復練習問題。基礎の定着に最適です。

⑭ 評価問題（応用問題）

各課で学ぶポイントを含んだ応用問題。本冊の問題の類問で力試しができます。

ほか、⑮ 補充問題（教授資料本冊に掲載した補充例文を含む英作文問題）もご用意しています。

⑯ パフォーマンステスト NEW!

各レッスンで3領域（話す〔やり取り・発表〕・書く）の評価にお役だていただける、パフォーマンステスト問題です。

Lesson 9 Visiting a Museum

(pp. 22-23)

BE11 「～するとよい」「～しなければならない」助動詞 should / must

① You () go to this exhibition. この展覧会に行くといいよ。
② You () see these pictures. これらの絵は見ておかないといけないよ。
① should 「～するとよい、～すべきである」〈助言・義務〉
② must 「～しなければならない」〈必要・義務〉 ※意味の強さは must>should.
◇ I have to 「～しなければならない」〈必要・義務〉 例 I **had to** wake up early yesterday.
do not (don't) have to 「～しなくてもよい」〈不必要〉 例 You **don't have to** hurry.
◇ I must not (mustn't) 「～してはいけない」〈禁止〉 例 You **mustn't** talk loud in the library.

BE12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など助動詞 have+過去分詞

③ Tom () () () there early.
トムはそこに早く着いたのかもしれない。
④ He () () () the exhibition.
彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
⑤ We () () () it last week.
私たちは先週そこを訪れるべきだった。
③ <may+have+過去分詞> 「～だった [した] かもしれない」
④ <must+have+過去分詞> 「～だった [した] にちがいない」
⑤ <(should+have+過去分詞)> 「～すべきだったのに」
◇ I (can't/cannot)+have+過去分詞 「～したはずが」
例 Kenta is such an honest boy. He **can't have told** a lie.

TEST MASTER
数研 テストマスター

CHECK

日本語に合うように、() に適切な語を入れてみよう。

- (1)～(4)→BE11, 5)～(7)→BE12
- 1) You () be quiet in the hall. (静かにしなければならぬ)
2) You () believe her words. (信じるべきだ)
3) I () clean my bike yesterday. (掃除しなければならぬ)
4) You () enter the building with your pet. (入ってはいけない)



改訂版 チャート式シリーズ

BIG DIPPER

ビッグ・ディッパー高校英語

元 関西学院大学教授 田中 実 監修



参考書の詳細は
こちら！

◆英文法の基礎を無理なく学べる

—教科書で学習した文法事項の理解をさらに深めることができます

A5判 / 480頁 / 別冊解答 (56頁) / 暗唱例文集 (40頁) / 基本例文書き込みノート (64頁)

※Essence of Expression [表現のエッセンス] (40頁) で教科書と連携した学習をサポート！

数研テストマスター完備 / デジタル副教材 (エスビューア：別売 予定) ⇒p.62

◆QRコードから以下の活動が可能！

文法解説動画の視聴 / 例文音声のリスニング / <数研発音マスター>を用いたスピーキング練習

◆チャート×ラボからGoogle フォーム / Microsoft Formsテストデータ (レディメイドタイプ) と音声データがご利用いただけます。

導入ページ

中学校の復習から段階的に学習を深めていきます

例題により理解の定着を確認します

導入部分では、親しみやすい対話形式の解説を取り入れています

※以下は改訂版のサンプルです。内容は変更の可能性があります。

第5章

助動詞

例文音声・発音練習
解説動画

この章で学ぶこと

1 can / could	102	5 shall / will / would	111
2 may	104	6 used to	115
3 must / have to	106	7 助動詞 + have + 過去分詞	117
4 should	109		

5 助動詞

助動詞とは…

例えば can「～できる」のように、動詞の前におかれ、動詞だけでは表せない意味をつけ加えて動詞を助ける働きをするものを助動詞といいます。

Play Back!

下の□内から適当な語を1つずつ選び、文を完成しよう。

① Hina [] run very fast.
(ヒナはとても速く走ることができます。)

② [] I sit here?
(ここに座ってもよろしいですか。)

③ You [] go home now.
(君は今すぐ家に帰らなければなりません。)

④ Young people [] see that movie.
(若い人たちはあの映画を見るべきです。)

may, can, should, must

上の can, may, must, should などが助動詞ですね。

動詞の前について「～できる」とか「～してもよい」とかの意味を表すんですね。

そうだね。助動詞は動詞に話し手の判断や気持ちなどの新たな意味を加えて、動詞を助けているんだ。後にくる動詞は必ず原形になることに注意しよう。それと、助動詞は動詞の仲間だけど、主語によって形が変わることがないという点にも注意が必要だね。

○ Hina can run very fast.
(原形)

× Hina cans run very fast.

次ページの<助動詞の特徴>を
しっかり確認しよう！

助動詞に共通の特徴として、次のことを頭に入れておきましょう。

<助動詞の特徴>

1. 動詞の原形がすぐ後にくる。
Lily can swim. (×can swims) (リリーは泳げます。)

2. 主語の人称・数による変化がない。
He may be tired. (×mays) (彼は疲れているのかもしれない。)

3. 否定文は助動詞 + not。
You must not take pictures here.
(ここで写真を撮ってはいけません。)

疑問文は助動詞 + 主語 + 動詞の原形～?
Can you join the party? (パーティーに参加できますか。)

確認ドリル

< >内の意味になるように、下の□内から助動詞を選び、文を完成しよう。(同じ助動詞を2度使ってもよい。)

1) Aya plays the piano.
Aya () () the piano. (～できる)

2) Ken knows her name.
Ken () () her name. (～かもしれない)

3) That boy is Tsubasa.
That boy () () Tsubasa. (～にちがいない)

4) The students leave now.
The students () () now. (～してもよい)

5) You brush your hair every day.
You () () your hair every day. (～すべきだ)

must, can, may, should

簡潔なまとめで、理解を整理します

導入部分でのおさらいとして「確認ドリル」でチェックします

- ◆「4技能」に活かせる基礎力の育成に最適の内容。
- ◆シンプルでわかりやすい例文，豊富な図解やイラストで，無理なく理解を深めることができます。

QRコードから「文法解説動画」「暗唱例文音声」にアクセスできます
◆小社発音判定アプリ「数研発音マスター」で，音読・発話練習もバッチリ

基本的で理解しやすい
英文：教科書『改訂版
BIG DIPPER 論理・表
現 I』と連携していま
す

基本から発展へ，解説
を段階的に深めていき
ます。共通テストの準
備として必要十分な内
容を扱うようにしてい
ます

How to Use It (こん
なふうに使う！)では，
学習した文法事項を，
実際の表現につなげる
ヒントを示しました

102
第5章 助動詞

1 can/could

A 「～できる」〈能力・可能〉

◆ Mr. White **can** speak five languages. 53
(ホワイト先生は5か国語を話せる。)

▶ 「～する能力がある」「～することが可能である」(＝～できる)の意味を表す。
Can you **ride** a bike? — Yes, I **can**. / No, I **can't**. 〈能力〉
(あなたは自転車に乗れますか。—はい，乗れます。/いいえ，乗れません。)

▶ 否定形は **cannot** (can not は使われない)。会話では **can't** がよく使われる。
Lucy **cannot** [**can't**] **swim**. (ルーシーは泳げません。)

● Can you **come** at ten? 〈可能〉 (10時に来ることができますか。)

注意 ① 〈be able to + 動詞の原形〉「～できる」

「～できる」は **be able to + 動詞の原形** でも表せる。現在形ではふつう **can** を使う。
Bob **is able to** (= **can**) **swim** fast. (ボブは速く泳ぐことができる。)

次の場合は **can** の代わりに **be able to** を使う。ほかの助動詞といっしょに使う場合 × **will can** のように，助動詞を2つ重ねて使うことはできない。

① 過去「(実際に)できた」
John helped me, so I **was able to finish** the homework.
(ジョンが手伝ってくれたので，私は宿題を終えることができた。)<実際にできた>

② ① **could** も「～できた」を表すが，ふつう「～する能力があった」の意で使う。
② 「～できなかった」は **couldn't / wasn't [weren't] able to** の両方可。

③ 未来「～できるようになるだろう」，完了形「(ずっと)～できている，など」
The baby **will be able to walk** soon. (その赤ちゃんはすぐに歩けるようになるだろう。)

④ 助動詞といっしょに使う場合
I **may be able to arrive** earlier. (もっと早く着くことができるかもしれない。)

How to Use It
こんなふうに使う！

失礼にならない「～できますか」の尋ね方

言語や演奏・スポーツなどの能力を問うときに，**Can you** ～? は，相手の能力をあらかじめ尋ね，無遠慮な感じを与えるので，**Do you** ～? を使うことが多い。
Do you speak Japanese? (あなたは日本語を話しますか。)

103

B 「～してもよい」〈許可〉

◆ We **can** use these dictionaries. (私たちはこれらの辞書を使ってもよい。) 54

▶ 「～することが可能」→「～してもよい」の意味を表す。
You **can** stay here until the rain stops. (雨がやむまでここにいてもいいよ。)

▶ Can I ～? / Can we ～? は「～してもよいか」と〈許可〉を求める表現。
否定形は「～してはいけない」〈軽い禁止〉。
Can I **talk** to you now? — Sure. (今話をしてもいい? — いいよ。)

▶ Could I ～? / Could we ～? は「～してもよろしいでしょうか」とていねいに〈許可〉を求める表現。
Could I ask you a question? — Of course, you **can** (× **could**).
(質問をしてもよろしいでしょうか。—もちろんです。)

受け答えは，**could** ではなく，**can** ことに注意。

C 「～してくれませんか」〈依頼〉

◆ Can you show me your textbook? — Of course. 55
(教科書を見せてくれる? — もちろんいいよ。)

◆ Could you (please) show me your dictionary? 56
— Sure. Here you are.
(辞書をちょっと見せていただけますか。— いいわ。はい，どうぞ。)

▶ Can you ～? は「～してくれない?」という〈依頼〉の意味を表す。
▶ Could you ～? は「～していただけますか」とていねいに〈依頼〉をする表現。
(→下 How to Use It)

How to Use It
こんなふうに使う！

お願いします！

人に頼みごとをするときには友達になら **Can you** ～?，
年上の人や初対面の人には **Could you** ～? を使うとよいで
しょう。過去形の **could** を使うと，現実から離れた感じが出せ，
言い切ることを避けた，控えめな表現になります。→仮定法 p.277

◆ Could you do me a favor, Ms. Chan? — Of course.
(チャン先生，お願いがあるんですが。— いいわよ。)

Can you do me a favor, Ken? — OK.
(ケン，頼みがあるんだけど。— いいよ。)

How to

p.101 ① can play ② may know ③ must be
④ can [may] leave ⑤ should [must] brush

- ・誤答チェック
(よく見られる誤りと正答からの注意喚起)
- ・Step Up
(発展的な文法事項の学習)
- ・English in Real Situations (文法事項の実用例)
などのコラムも充実しています

章末問題での豊富な文法演習に加え，資格・検定試験に通じる問題も適宜扱っています

- ◆教科書 Revised *BIG DIPPER English Logic and Expression I* の文法事項をおさらいできる冊子です。
 ◆教科書の例文に参考書の解説を補足し、教科書との連携学習を強化します。



助動詞の英文の作り方

肯定文: 主語(～は・～が) + 助動詞 + 動詞の原形 ～,
 否定文: 主語(～は・～が) + 助動詞 + not + 動詞の原形 ～,
 疑問文: 助動詞 + 主語(～は・～が) + 動詞の原形 ～?

助動詞の前において、動詞だけでは表せない意味を付け加えて動詞を助ける働きをします。

B.E.9 「～できる」「～してもよい」

pp.102～104

- Mr. White can speak five languages. ▶ ホワイト先生は5か国語を話せる。
- We can use his dictionaries. ▶ 私たちは彼の辞書を使ってもよい。
- May I study here? — Yes, certainly. ▶ ここで勉強してもよろしいですが、ええ、かまいません。

1 can / could

A 「～できる」(能力・可能)

- ▶ 「～する能力がある」や「～することが可能である」(＝～できる)の意味を表す。
 Can you ride a bike? — Yes, I can. / No, I can't. (能力)
 (あなたは自転車に乗れますか。—はい、乗れます。/ いいえ、乗れません。)
 ▶ 否定形は cannot (can not は使われない)。会話では can't がよく使われる。

注意 ! < be able to + 動詞の原形 > 「～できる」

- 「～できる」は < be able to + 動詞の原形 > でも表せる。現在形ではふつう can を使う。
 次の場合は can の代わりに < be able to > を使う。ほかの助動詞といっしょに使う場合× will can のように、助動詞を2つ重ねて使うことはできない。
 ② 過去「(実際に)できた」
 John helped me, so I was able to finish the homework.
 (ジョンが手伝ってくれたので、私は宿題を終えることができた。)<実際にできた>
 ③ 未来「～できるようになるだろう」、完了形「(ずっと)～できている、など」
 The baby will be able to walk soon.
 (その赤ちゃんはすぐに歩けるようになるだろう。)

B 「～してもよい」(許可)

- ▶ 「～することが可能」→「～してもよい」の意味を表す。
 You can stay here until the rain stops. (雨がやむまでここにいてもいいよ。)

12

教科書の例文番号

→ B.E.9 1

否定形の cannot は1語です。

→ B.E.9 Notes

can が使えず、(be able to + 動詞の原形) を使って表現しないといけない場合があるので、注意しましょう。

→ B.E.9 2

教科書『改訂版 BIG DIPPER 論理・表現 I』の例文を掲載



参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』の解説で、理解を深めます

●BIG DIPPER シリーズ 準拠シリーズ・文法参考書付属物のご案内●
 文法学習用テキスト

改訂版 *BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES* (25ディッパー-英文法)改訂版 *BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES* (21ディッパー-英文法)

生徒用別冊解答編付／教授用資料完備／数研テストマスター完備

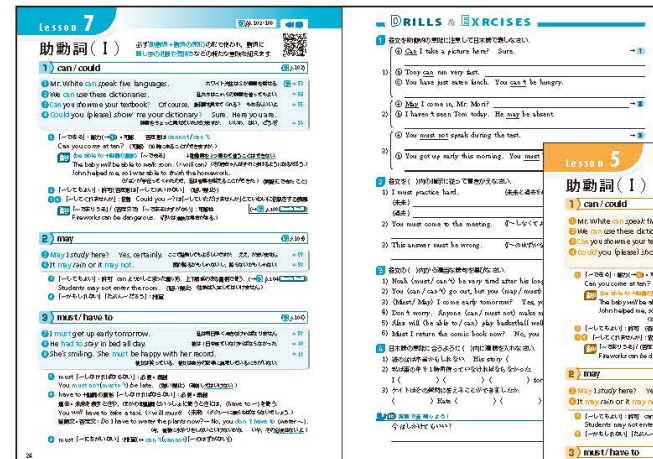
※2025年10月改訂版発行予定

◆QRコードから以下の活動が可能！

例文の音声再生／〈数研発音マスター〉でスピーキング練習

◆チャート×ラボからGoogle フォーム / Microsoft Formsテストデータ
 (レディメイドタイプ) がご利用いただけます。

本課 (『25ディッパー-英文法』)



『25 英文法』の見開き最後の1問は参考書 How to Use It で扱っているような日常的な内容を表現する問題です

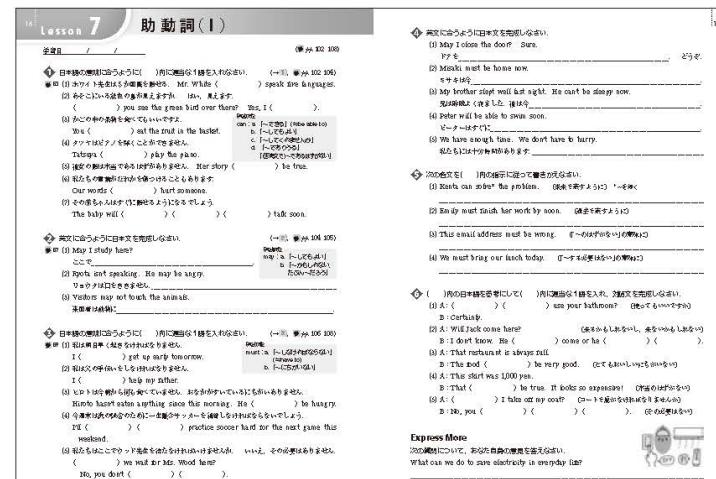
文法学習用ワークブック

改訂版 *WORKBOOK for BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES* (25ディッパー-ワーク)改訂版 *WORKBOOK for BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES* (21ディッパー-ワーク)

生徒用別冊解答編付／数研テストマスター完備

※2025年10月改訂版発行予定

本課 (『25ディッパー-ワーク』)

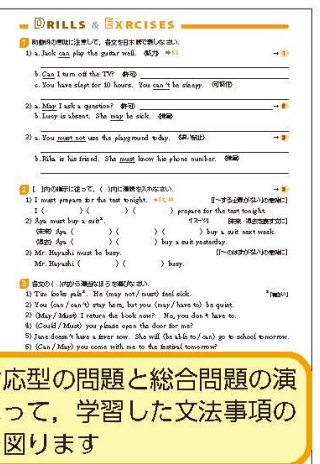


『25 ワーク』の見開き最後の1問は、資格・検定試験対策にも役立つ問題です

now printing

now printing

本課 (『21ディッパー-英文法』)



項目対応型の問題と総合問題の演習によって、学習した文法事項の定着を図ります

now printing

now printing



ワークブック (復習用ワーク)

B5判 88頁/別冊解答(48頁) 別冊包/税込定価704円



- 教科書に合わせたパート構成で、効率よく教科書の復習ができます。
- PART 1: 文法事項の再確認+練習問題 (2ページ構成)
- PART 1 Review: 教科書演習の練習問題 (1ページ構成)
- PART 2: 重要表現の確認+ディクテーション (1ページ構成)
- 自己表現問題で無理なく「書く力」を養うことができます。
- ◆QRコードからの音声再生 (PART 1 基本例文・PART 2 リスニング問題) に対応しています。

空所補充形式
の例文と簡潔
な解説で、文法
事項の再確認

項目対応型の
練習問題

空所補充→
語句整序→
部分英作で
段階的な演
習が可能

自己表現問題

Lesson 8 Our Teachers

Unit 9 「～できる」「～してもよい」

① Mr. White () () five languages. (トモトモに五ヶ国語を話せる)

② We () () his dictionaries. (私たちが辞書を借りました)

③ () () study here? Yes, certainly. (ここに勉強してもいいですか、もちろん)

④ I can (～できる) (能力・可能) = be able to ~

⑤ I may (～してもよい) (許可・可能) = be able to ~

⑥ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must/can't

⑦ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

⑧ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

⑨ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

⑩ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

⑪ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

⑫ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

⑬ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

⑭ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

⑮ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

⑯ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

⑰ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

⑱ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

⑲ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

⑳ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㉑ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㉒ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㉓ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㉔ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㉕ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㉖ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㉗ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㉘ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㉙ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㉚ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㉛ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㉜ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㉝ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㉞ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㉟ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㊱ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㊲ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㊳ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㊴ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㊵ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㊶ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㊷ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㊸ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㊹ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㊺ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㊻ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㊼ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

㊽ I must (～しなければならない) (義務・可能) = must

㊾ I can't (～できない) (能力・可能) = can't

㊿ I may (～してもよい) (許可・可能) = may

EXERCISES

① 日本語に合うように、() 内の語句を並びかえてみよう。

1) Mimi (can / may) dance very well. (ダンスが上手)

2) The phone is ringing. It (may / must) be Maria. (電話が鳴っている)

3) (May / Must) I enter the room? (入ってもいいですか)

4) (Can / Must) I sit here? — Sure. (座ってもいいですか)

5) He skipped lunch. He (must / can't) be hungry. (食事を抜いたのでお腹が空いている)

6) This jacket (can't / may) belong to Kim. It's too big for him. (ジャケットはキムのものでない)

② 日本語に合うように、() 内の語句を並びかえてみよう。

1) 彼は朝の自分の時計を身につけてきたが、それはなかった。(not / was / find / to / able)

He _____ his watch after at.

2) 彼が寝るはずがない。(can't / late / she / be)

_____ ? — Yes, certainly.

3) この答えは間違っているかもしれない。(be / this answer / wrong / must)

_____ ? — Yes, certainly.

4) このペンを使ってもいいですか。一応、ありません。(use / I / this pen / may)

_____ ? — Yes, certainly.

③ 日本語に合うように、英文を完成させてみよう。

1) トムはスケートが得意だが、スノーボードは苦手だ。

Tom can skate, but he _____.

2) そんなにたくさん泳ぐ必要はない。泳ぐ必要はありません。

You _____ after sleeping for so long.

3) 彼が泳ぎに会ったとき、彼は泳いでいるのを見ました。

I saw he had passed the exam. He _____.

4) 彼は昨日10キロ泳いだようになります。

_____ fifty meters soon.

④ You turn

⑤ I can

⑥ I can't

▲PART 1



レッスンブック (文法授業用テキスト)

B5判 88頁/別冊解答(40頁) 別冊包/税込定価704円



- 教科書PART 1を補強する教材として最適。文法を網羅的・体系的に習得できます。
- 見開き2ページ構成「左ページ: 解説, 右ページ: 問題演習」で、テンポよく理解が深まります。
- ※解説ページの英文の一部に、教科書の主要例文を使用しています。
- 巻頭「学習に必要な基礎知識」で、中学から高校へのスムーズな導入が可能です。
- 参考書「改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語」に完全準拠 (参照ページ付)。

*表記の全額はすべて税込価格です。

教科書の主要
例文を使用

参考書「改訂
版チャート式
シリーズ BIG
DIPPER 高校
英語」に完全
準拠の解説

項目対応型
大問+総合
問題で段階
的な演習が
可能

Lesson 8 助動詞 (I)

Unit 9 「～できる」「～してもよい」

① can / could

② may

③ must / have to

④ must

⑤ must

⑥ must

⑦ must

⑧ must

⑨ must

⑩ must

⑪ must

⑫ must

⑬ must

⑭ must

⑮ must

⑯ must

⑰ must

⑱ must

⑲ must

⑳ must

㉑ must

㉒ must

㉓ must

㉔ must

㉕ must

㉖ must

㉗ must

㉘ must

㉙ must

㉚ must

㉛ must

㉜ must

㉝ must

㉞ must

㉟ must

㊱ must

㊲ must

㊳ must

㊴ must

㊵ must

㊶ must

㊷ must

㊸ must

㊹ must

㊺ must

㊻ must

㊼ must

㊽ must

㊾ must

㊿ must

DRILLS & EXERCISES

① 25の英文を、動詞の後に注意して日本語で訳しなさい。

② Can I take these books home? — Sure.

③ He can run very fast.

④ You have just eaten lunch. You cannot be hungry.

⑤ May I come in, Mr. Mori? — He may be sick.

⑥ Tom is not at school today. He must be sick.

⑦ You must not speak during the movie.

⑧ Ken hasn't slept since last night. He must be sleepy.

⑨ 英文を() 内の指示に従って書きかえなさい。

(1) I must practice hard. (過去と未来を直す文)

(2) You must come to the meeting. (～しないでよい)の文を直す

(3) It must be an easy question. (～のはずがない)の文を直す

⑩ 英文の() 内の語句、適切な語句を選びなさい。

(1) I finally got a puppy! — Oh, you (must / can't) be excited.

(2) You (can / can't) go out, but you (may / must) be back by five.

(3) I'm going to Japan next year. (must / Can) you recommend a good place to visit?

(4) Don't worry. Anyone (can / must not) make mistakes.

(5) Alex will (be able to / can) play basketball next year.

(6) Must I return the comic book soon? — No, you (don't have to / haven't to).

⑪ 日本語に合うように、() 内に適切な語句を入れなさい。

(1) 彼の髪は赤いからいい。 His story () () true.

(2) 私は彼の手を1時間待っているが来なかった。

I () () () for an hour in the rain.

(3) しばらくの間この部屋を使ってもいいですか。

() () () this room for a while?

(4) あなたはもう少し早くバスに乗り換えるようにしてください。

You () () () () play the violin well soon.

数研発音マスタープラスのご案内 (→p.7)

発音マスター
プラスの詳細
はこちら！

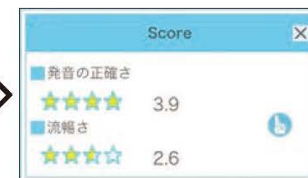
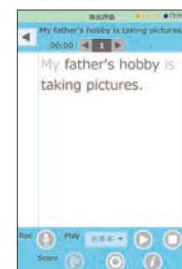
NEW!

このアイコンで示した教材をご採用のうえお申込みいただくと、対応する教科書の数研発音マスタープラス(管理機能付き)をご利用いただけます。

※該当教材の目次・前付けにQRコードがございます。

※申込・アカウント登録不要の通常版発音マスターもご利用いただけます。

「発音マスター」で教科書例文の発音練習！



「発音マスタープラス」で学習履歴を確認！

項目	スコア
発音の正確さ	3.9
流暢さ	2.6

▲管理画面 (イメージ)

教科書演習の練習
問題
(空所補充形式)

空所補充形式で
重要表現の確認

ディクテーション

会話文に関する
内容把握問題

自己表現問題
(ヒント付)

Lesson 8 Our Teachers

Unit 9 「～できる」「～してもよい」

① I _____ you guess this dog's name? — It's Shiro, I guess.

② You _____ use my eraser? — Thanks a lot.

③ I _____ borrow this book? — Sure, go ahead.

④ People will _____ live on the moon someday.

⑤ I _____ be sick.

⑥ Bill's stomach is growling. He _____ be hungry.

⑦ That story _____ be true! It's unbelievable.

⑧ I _____ be tired after the race.

⑨ She _____ happy with her record.

⑩ She _____ in the staff room.

⑪ I _____ have a slight fever. I may have a cold.

⑫ I _____ can't (cannot) (～のはずがない)

⑬ That _____ be possible! You must be joking.

⑭ I _____ be able to ~

⑮ I _____ be able to ~

⑯ I _____ be able to ~

⑰ I _____ be able to ~

⑱ I _____ be able to ~

⑲ I _____ be able to ~

⑳ I _____ be able to ~

㉑ I _____ be able to ~

㉒ I _____ be able to ~

㉓ I _____ be able to ~

㉔ I _____ be able to ~

㉕ I _____ be able to ~

㉖ I _____ be able to ~

㉗ I _____ be able to ~

㉘ I _____ be able to ~

㉙ I _____ be able to ~

㉚ I _____ be able to ~

㉛ I _____ be able to ~

㉜ I _____ be able to ~

㉝ I _____ be able to ~

㉞ I _____ be able to ~

㉟ I _____ be able to ~

㊱ I _____ be able to ~

㊲ I _____ be able to ~

㊳ I _____ be able to ~

㊴ I _____ be able to ~

㊵ I _____ be able to ~

㊶ I _____ be able to ~

㊷ I _____ be able to ~

㊸ I _____ be able to ~

㊹ I _____ be able to ~

㊺ I _____ be able to ~

㊻ I _____ be able to ~

㊼ I _____ be able to ~

㊽ I _____ be able to ~

㊾ I _____ be able to ~

㊿ I _____ be able to ~

EXERCISES

① 日本語に合うように、() 内の語句を並びかえてみよう。

1) Mimi (can / may) dance very well. (ダンスが上手)

2) The phone is ringing. It (may / must) be Maria. (電話が鳴っている)

3) (May / Must) I enter the room? (入ってもいいですか)

4) (Can / Must) I sit here? — Sure. (座ってもいいですか)

5) He skipped lunch. He (must / can't) be hungry. (食事を抜いたのでお腹が空いている)

6) This jacket (can't / may) belong to Kim. It's too big for him. (ジャケットはキムのものでない)

② 日本語に合うように、() 内の語句を並びかえてみよう。

1) 彼は朝の自分の時計を身につけてきたが、それはなかった。(not / was / find / to / able)

He _____ his watch after at.

2) 彼が寝るはずがない。(can't / late / she / be)

_____ ? — Yes, certainly.

3) この答えは間違っているかもしれない。(be / this answer / wrong / must)

_____ ? — Yes, certainly.

4) このペンを使ってもいいですか。一応、ありません。(use / I / this pen / may)

_____ ? — Yes, certainly.

③ 日本語に合うように、英文を完成させてみよう。

1) トムはスケートが得意だが、スノーボードは苦手だ。

Tom can skate, but he _____.

2) そんなにたくさん泳ぐ必要はない。泳ぐ必要はありません。

You _____ after sleeping for so long.

3) 彼が泳ぎに会ったとき、彼は泳いでいるのを見ました。

I saw he had passed the exam. He _____.

4) 彼は昨日10キロ泳いだようになります。

_____ fifty meters soon.

④ You turn

⑤ I can

⑥ I can't

▲PART 1 Review

▲PART 2

機能向上 基本機能

指 学+ 副



スムーズな動作

全般的な処理の見直しを行ったことにより、『スライドビューを開く時間』や『コンテンツを開く時間』が短縮されます。

ツールバーの位置

従来のツールバーは下部に固定されていましたが、位置を左右にも変更できるようになりました。左右に変更することで、これまで以上に紙面を大きく投影できるようになります。

ツールバーの位置の変更方法

オプションタブ > 設定 > ツールバーの位置

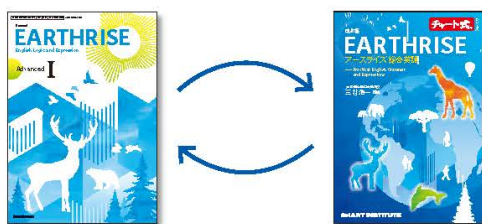
ツールバーのレイアウト

「目次」「コンテンツ集」「教材連携」「本棚」ボタンは、アクセスしやすいようにツールバーに配置しました。

充実の機能

教材連携

購入済のデジタル教科書／デジタル副教材の間で、スムーズな連携ができます。別教材の該当ページや類間をすぐに表示できます。



宿題管理

先生は、生徒のエスビューアへ宿題を配信することができます。宿題の進捗状況や、生徒が提出した宿題の結果・ノートの写真をいつでも確認することができます。

学習の記録

生徒は、問題を解いて得た気づきを、ノートの写真やコメントと合わせて学習の記録として残すことができます。



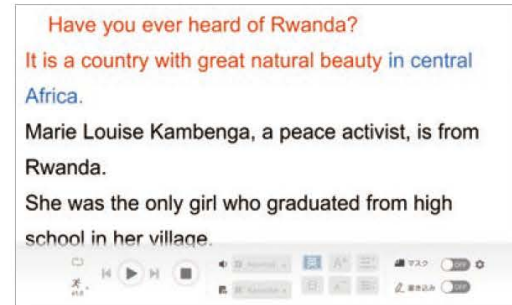
表示制御

先生は、生徒の学習者用デジタル教科書・教材／デジタル副教材に収録されている「答」「解説」「コンテンツ」などについて、要素ごとに「見せる／見せない」を設定できます。

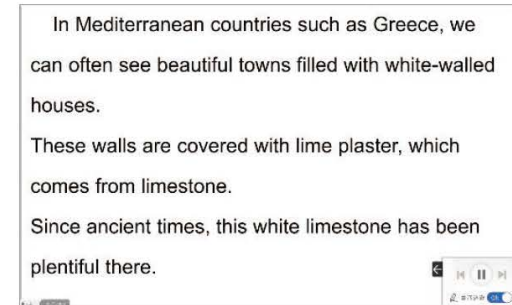
機能向上 テキストビュー

指 学+ 副

新出語や本文を拡大表示できます。日本語訳の表示機能もあり、英語と日本語訳を同時に見せることもできます。カラオケ、フェードイン・アウト、虫食い、フラッシュの5パターンでテキストを再生できます。



文字サイズや行間、音声再生速度の調整も可能。授業の進め方によって、使い分けていただけます。



テキストを表示できる範囲が広がり、使いやすさ UP！

※ 画像は開発中のイメージです。
2026年3月以降発行の教材から順次対応予定です。

フラッシュカード (英コミ)

指 学+ 副

新出語や本文(一部を除く)は、フラッシュカード形式で再生できます。



英語カード、日本語カードを利用して単語の定着にご活用いただけます。



発音記号カード、英日併記カードなどを組み合わせることで、さまざまな運用にも対応可能です。

参考書表示 (論表)

指 学+ 副

教科書と関連する参考書の紙面を表示することができます。授業のなかで教科書に関連する参考書紙面を提示しながら、文法の補足説明をする際などにご利用いただけます。



体験版はこちら！



英語 デジタル教科書／デジタル副教材 ラインアップ

【補足：利用期間（教科書使用期間・書籍使用期間）について】
「デジタル教科書／デジタル副教材」は販売終了後、一定の利用期間の後に配信を停止いたします。
配信停止後はオンラインでの利用が不可となりますのでご注意ください。
各商品の利用期間（配信期限）の最新情報は、弊社ホームページ（https://www.chart.co.jp/software/lineup/expiry/）をご覧ください。

指導者用デジタル教科書（教材）

電子黒板などで教科書紙面やコンテンツを拡大して提示する、先生用の教材です。

商品名	収録書籍	No.	価格(税込)	データサイズ	発売日
指導者用デジタル教科書(教材) 改訂版 English Communication Ⅰ	「Revised BLUE MARBLE English Communication Ⅰ」 「Revised BIG DIPPER English Communication Ⅰ」 「Revised COMET English Communication Ⅰ」	54290	未定	未定	2026年3月 発売予定
指導者用デジタル教科書(教材) 改訂版 English Logic and Expression Ⅰ	「Revised EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Advanced」 「Revised EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Standard」 「EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Essential」 「Revised BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅰ」	54302			

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：校内フリーライセンス ■購入方法：教科書取扱書店様へ ■納品物：アプリ版インストール用 DVD-ROM
■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○	○	○	○	—	—※2	—※2

※1 特別支援機能は含まれません。
※2 「学習者用デジタル教科書・教材」または「学習者用デジタル副教材」ご採用時に利用可能な機能です。

学習者用デジタル教科書・教材

生徒一人一人の端末で使用する、生徒用の教材です。

科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ	発売日
英語コミュニケーションⅠ	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BLUE MARBLE English Communication Ⅰ	4384172D01	未定	未定	2026年3月 発売予定
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BIG DIPPER English Communication Ⅰ	4384187D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised COMET English Communication Ⅰ	4384202D01			
論理・表現Ⅰ	学習者用デジタル教科書・教材 Revised EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Advanced	4384217D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Standard	4384232D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression Ⅰ Essential	4384261D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅰ	4384247D01			

ご採用いただくと、数研発音マスタープラス（管理機能付き）をご利用いただけます。
■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書
■搭載機能：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○※2	○※2	○	○	—	○※3	○※3

※1 特別支援機能は含まれません。
※2 表示される内容が「指導者用デジタル教科書(教材)」とは異なります。
※3 先生は「エスビューア先生用サイト」より設定する必要があります。

学習者用デジタル副教材

生徒一人一人または先生用の端末で使用する、デジタル副教材です。

シリーズ	商品名	No.	価格(税込)		データ サイズ	発売日
			書籍購入なし	書籍購入あり		
基礎からの 新々総合英語	学習者用デジタル版 新訂版 チャート式シリーズ GRAND EARTH 基礎からの新々総合英語	4311166D01	1,705 円	550 円	約 1GB	販売中
EARTHRISE	学習者用デジタル版 改訂版 チャート式シリーズ EARTHRISE アースライズ総合英語 — Practical English Grammar and Expressions	4311082D01	未定	未定	未定	2026年3月 発売予定
BIG DIPPER	学習者用デジタル版 改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER ビッグ・ディッパー高校英語	4311108D01				

■利用期間：書籍使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接数研出版へ ■納品物：ライセンス証明書
■搭載機能：下記参照

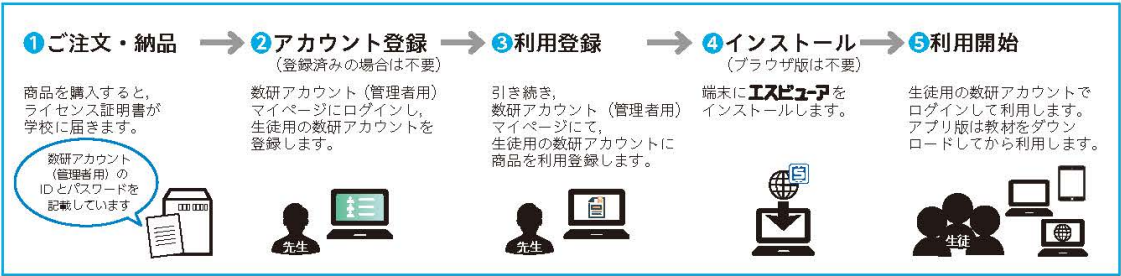
基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						宿題管理	表示制御
○※1	○	○	○	○	—	○※2	○※2

※1 特別支援機能は含まれません。
※2 先生は「エスビューア先生用サイト」より設定する必要があります。
(注)学習者用デジタル副教材をご採用の場合でも、紙の書籍ご採用時と同様にご採用校専用データをチャート×ラボからダウンロードできます。
(注)学校採用にて書籍をご購入の場合は、「書籍購入あり」価格(上記)で販売いたします(学習者用デジタル副教材のみ)。
ただし、書籍と学習者用デジタル副教材の使用者が同じ場合に限りです。
(注)2026年3月発行予定教材については企画中のため、内容・仕様ともに変更になる場合があります。

ー学習者用デジタル副教材を先生が拡大提示する場合についてー

- 授業を受ける生徒全員が、該当する紙の書籍または学習者用デジタル副教材を所有している場合は、先生による拡大提示用途としてご利用いただけます。
- 授業を受ける生徒全員が、該当する紙の書籍または学習者用デジタル副教材を所有していない状況（または一部生徒しか所有していない場合）で、先生による拡大提示用途としてご利用いただく場合は、ユーザーライセンスに加えて「提示用オプション」をご購入いただく必要があります。
- 「提示用オプション」について、詳しくは弊社ホームページをご確認ください。発売予定の商品については、決まり次第お知らせいたします。

■ご利用までの流れ（学習者用デジタル教科書・教材，学習者用デジタル副教材）



(注) 指導者用デジタル教科書（教材）のご利用までの流れは、弊社ホームページ（https://www.chart.co.jp/software/digital/s/flow/）をご覧ください。

■動作環境

- 動作環境の詳細は弊社ホームページをご覧ください。
- 1ライセンスでアプリ版とブラウザ版の両方をご利用いただけます。

アプリ版

Windows 10／11
iPadOS 16／17／18
※Windows10／11のSモードには非対応です。

ブラウザ版

OS：Windows 10／11
OS：Chrome OS最新版
OS：iPadOS 16／17／18

ブラウザ：Google Chrome／Microsoft Edge
ブラウザ：Google Chrome
ブラウザ：Safari

＼指導に役立つ情報や教材データをお届け／

先生のための会員制サイト **チャート×ラボ**

「チャート×ラボ」で何ができるの？

- ご採用の教材に関連したデータのダウンロードや、数研出版が作成したプリントデータを生徒のタブレットやスマートフォンに配信することができます。
- 指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル副教材の体験版をお試しいただけます。
- 数研出版主催のセミナーにお申込みいただけます。

会員限定の情報も
お届けするよ

くわしくはこちら <https://lab.chart.co.jp/>

※「チャート×ラボ」のご利用は、教育機関関係者（小学校・中学校・高等学校・大学などの学校に勤務されている方、教育委員会・教育センターなど教育関係職員の方）に限定しております。



数研出版コールセンター TEL: 075-231-0162 FAX: 075-256-2936

東京本社 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 2-3-3
関西本社 〒604-0861
京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町 205
関東支社 〒120-0042
東京都足立区千住龍田町 4-17
支店…札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

本カタログに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本カタログで使用されている商品の写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。
本カタログに掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。
返品に関する特約：商品に欠陥のある場合を除き、お客様のご都合による商品の返品・交換はお受けできません。
151559